

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第197集

しら いわ じょう せき  
白 岩 城 跡 Ⅲ

—長野県佐久市上平尾中世城館跡の発掘調査報告書—

(中 世)

2012. 3

セブン—イレブンジャパン株式会社  
佐久市教育委員会

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第197集

しら いわ じょう せき  
**白 岩 城 跡 III**

—長野県佐久市上平尾中世城館跡の発掘調査報告書—

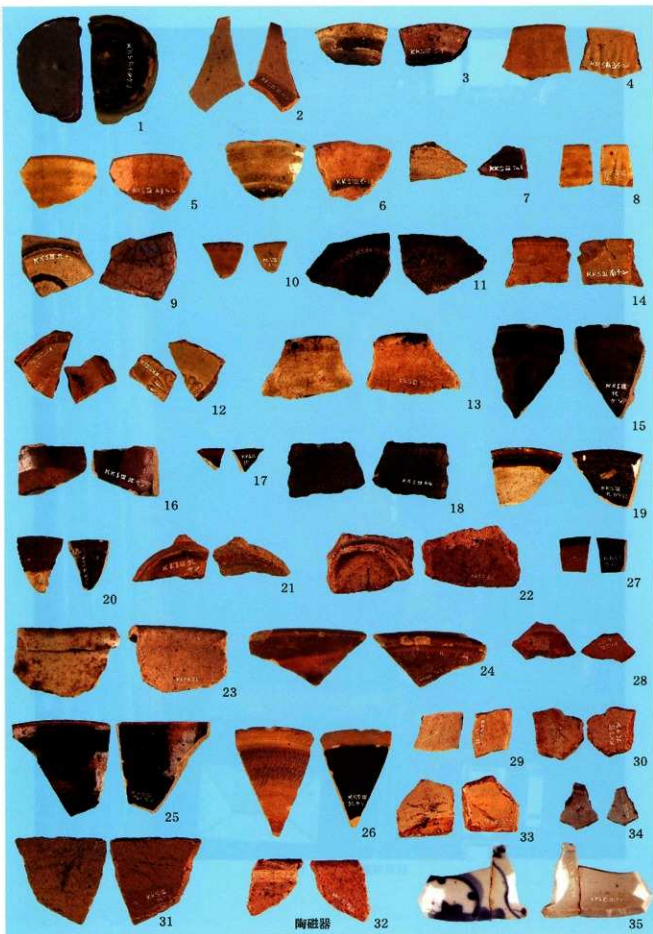
(中 世)

2012. 3

セブン—イレブンジャパン株式会社  
佐久市教育委員会



白岩城跡Ⅲ 全景（南より）



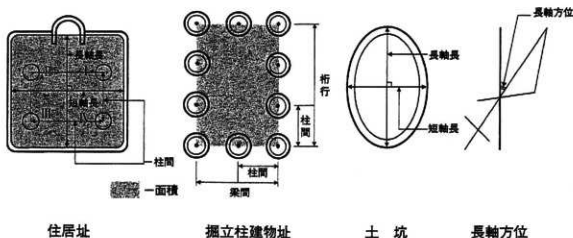
白岩城跡Ⅱ 出土陶磁器 (1 : 2)

## 例 言

1. 本書は店舗新設工事に伴う発掘調査報告書である。
2. 調査原因者 セブン-イレブンジャパン株式会社
3. 調査主体者 佐久市教育委員会文化財課
4. 遺跡名および所在地  
白岩（しらいわ）城跡Ⅲ（略号KKSⅢ）  
佐久市上平尾古城跡967-1外2筆
5. 調査期間及面積  
発掘調査 平成21年(2009)9月2日～10月30日  
整理期間 平成21年11月～22年3月・平成23年(2011)12月～平成24年3月  
調査面積 1,720㎡
6. 本報告書に関わる担当は、発掘調査は出澤力、報告書の編集・執筆は森泉かよ子が行った。
7. 陶磁器類は（財）長野県埋蔵文化財センター 市川隆之氏にご教示いただいた。ここに記して御礼申し上げます。
8. 本書及び本遺跡の出土遺物の資料は佐久市教育委員会の責任下に保管されている。

## 凡 例

1. 遺構の略号は以下の通りである。  
竪穴状遺構—Ta 掘立柱建物跡—F 土坑—D ビット—P 溝・堀地—M
2. 挿図の縮尺は原則として以下の通りである。異なる場合は図中に明記して示した。  
遺構—1/80 遺物 土器—1/4 大型石製品—1/8 陶磁器・鉄製品—1/2  
小品 1/1
3. 遺構の海拔標高は各遺構ごとに統一し、水糸標高を「標高」とした。
4. 土層の色調は2005年版『新版 標準土色帖』に基づいて示した。
5. 挿図の遺物番号は写真図版中の遺物番号と同一である。図版中の縮尺はほぼ挿図と同じであるが、異なるものもある。
6. 遺構の計測は下図に示した測定値である。  
長軸長と短軸長の差が1割を越えたものを長方形とした。



住居址

掘立柱建物址

土坑

長軸方位

7. 本調査は整地層がみられ、検出を上下の二段階にわたって行っている。上面は4mグリットを設定後メッシュ測量、下面は平板測量である。

また、下面で検出された遺構の中には上面に帰属するものもあり得る。掘立柱建物址とした柱穴は、上面と下面にあった場合上面に引き上げて修正をしている。下面検出の遺構は青線で表記している。

8. 遺物一覧表の( )は推定値、〈 〉残存値、-は測定不可能であることを示す。

9. 本報告書挿図中のスクリーントーンは以下のことを示す。

#### 遺構

地山断面  堀  土 塁 

#### 遺物

赤色塗彩  釉  礫 

### 主な検出遺構・遺物

#### 遺構

掘立柱建物址 9棟  
 竪穴状遺構 3棟  
 土 坑 45基  
 石 組 1基  
 堀 址 1本  
 溝 址 4本  
 単独ビット 426個(掘立柱建物址分含む)

#### 遺物

陶磁器—青磁碗・白磁皿・瀬戸大窯灰釉小皿・瀬戸美濃丸皿・前山灰釉碗・かわらけ・内耳鍋  
 鉄製品—鉄鏃・刀子・火打金具・角釘・毛抜・角軸  
 青銅製品—柄縁・鞘尻・渡金製品  
 古銭—渡来銭—唐銭・北宋銭・明銭  
 邦銭—寛永通寶  
 石製品—繩物石・軽石製品・砥石・台石・硯・スクレイパー・茶臼・粉挽臼・五輪塔・石鏃・石匙  
 骨—ウシかウマの骨・歯

# 目 次

巻頭図版

例 言

凡 例

主な検出遺構・遺物

目 次

第I章 発掘調査の概要 .....	1
第1節 発掘調査に至る経緯 .....	1
第2節 調査体制 .....	2
第3節 調査日誌 .....	2
第4節 調査の概要 .....	2
第II章 遺跡の環境 .....	4
第1節 自然環境 .....	4
第2節 歴史的環境 .....	4
第III章 基本層序 .....	7
第IV章 遺構と遺物 .....	11
第1節 遺構 .....	11
1. 掘立柱建物址 .....	11
2. 竪穴状遺構 .....	13
3. 土坑 .....	15
4. 単独ピット .....	22
5. 南堀・土塁・溝址 .....	22
第2節 遺物 .....	23
1. 陶磁器 .....	23
2. 内耳鍋・火鉢・土板 .....	23
3. かわらけ .....	23
4. 金属製品 .....	23
5. 古銭 .....	25
6. 石製品 .....	25
7. 羽口 .....	31
8. 骨 .....	31
9. 中世以前の遺物 .....	31
第V章 まとめ .....	32
引用参考文献 .....	36
付表 .....	41
図版 .....	55

挿図目次

第1図 白岩城跡位置図 (1:50,000) .....	1
第2図 グリット設定図 (1:500) .....	3
第3図 発掘区設定図 (1:2,000) .....	3
第4図 周辺遺跡分布図 (1:20,000) .....	5

第5図	白岩城跡・平尾（秋葉山）城縄張図（1：10,000）	6
第6図	基本層序模式図	7
第7図	白岩城跡Ⅲ全体図	9・10
第8図	F1・F2号掘立柱建物址	12
第9図	F3号掘立柱建物址	13
第10図	F4・F8号掘立柱建物址	14
第11図	F5・F6号掘立柱建物址	15
第12図	F7号掘立柱建物址・M4号溝址	16
第13図	竪穴状遺構	17
第14図	上坑（1）	18
第15図	上坑（2）	19
第16図	土坑（3）	20
第17図	土坑（4）	21
第18図	土坑（5）	22
第19図	南堀断面図	23
第20図	陶磁器（1）	24
第21図	陶磁器（2）	25
第22図	内耳鍋・火鉢・かわらけ・土板	26
第23図	金属製品	27
第24図	古銭	28
第25図	石製品（砥石・磨石・台石他）	29
第26図	石製品（五輪塔・石臼）	30
第27図	石製品（石鎌・石匙）	31
第28図	骨・歯	31
第29図	中世以前の出土遺物	31
第30図	『白岩城跡Ⅰ』瀬戸灰軸端反皿・かわらけ	32
第31図	北山寺遺跡中世遺構図	33
第32図	白岩城跡Ⅲの虎口	34
第33図	白岩城跡Ⅲ出土の主たる遺物分布図	37・38
第34図	白岩城跡地形測量図	39・40
付図	白岩城跡Ⅲ横断面図	
挿図目次		
第1表	白岩城跡Ⅲ遺構一覧表	41
	竪穴状遺構	41
	掘立柱建物址	41
	溝址	41
	土坑	42
	単独ピット	44
第2表	白岩城跡Ⅲ出土遺物一覧表	49



# 第 I 章 発掘調査の概要

## 第 1 節 発掘調査に至る経緯

白岩城跡は佐久市の北部中央にあり、南流する湯川左岸の河岸段丘にのぞむ第 2 段丘崖上にある。今回、セブン-イレブンジャパン株式会社の店舗新設が計画され、城跡として周知のところであり、試掘調査の結果遺構・遺物を検出した。立地は浅間山南麓の西にのびる田切り地形の台地にあたり、湯川が屈曲して三方を囲み、浸食により断崖となっている。台地側は堀で切断して内郭を作り出している。標高は742mを測る。

昭和63年(1988)に県道草越・豊昇・佐久線の改良工事事業に伴い拡幅部の発掘調査がなされている。道路拡幅部である現道の西側から南北に延びる堀の西側面を検出している。工事区の北側では郭の上面の調査で5基の土坑と溝がある。

今回の開発地点は昭和63年の白岩城跡 I の調査と一部連続する主郭の南東部にあたる地点である。試掘の結果遺構・遺物が検出され、店舗新設により遺跡が破壊されるため、遺跡の記録保存を目的として発掘調査を行った。



## 第2節 調査体制

佐久市教育委員会

平成21年度 (2009)

教 育 長 木内 清 (～5月) 土屋盛夫 (5月～)

社会教育部長 内藤孝徳 (～6月) 工藤秀康 (7月～)

社会教育部次長 金澤英人 (～6月)

文化財課長 森角吉晴 文化財調査係長 三石宗一

文化財調査係 林 幸彦 並木節子 須藤隆司 小林眞寿

羽毛田卓也 富沢一明 上原 学 出澤 力

神津 格 (～9月) 井山泰章 (10月～)

調査担当者 出澤 力

平成23年度(2011)

教 育 長 土屋盛夫

社会教育部長 伊藤明弘

社会教育部次長 藤牧 浩

文化財課長 吉澤 隆 文化財調査係長 三石宗一

文化財調査係 林 幸彦 須藤隆司 小林眞寿 羽毛田卓也

富沢一明 上原 学 並木節子 出澤 力 (～6月)

井出泰章 (～9月) 神津一明 (10月～)

調査担当者 森泉かよ子

調査員

浅沼ノブ 甘利隆雄 安藤孝司 岡村千代美 小井戸秀元 小林百合子

小山 功 土屋武上 中島フクジ 細萱ミスズ 日向昭次 白瀬秋男

山田英暉 油井満芳 渡辺久美子 渡辺 学

報告書作成分担

堺 益子 柳澤孝子 (遺物実測) 副島充子 上山貴恵 (トレース) 菊池喜重 (復元)

林美智子 (版下作成) 細谷秀子 (図面修正) 吉田信行 (図版作成) 依田好行 (遺物撮影)

柳沢亜矢子 (割付・表作成)

## 第3節 調査日誌

平成21年度 (2009)

9月 2日 本日より現地に調査員を入れ、検出作業。

10月30日 現場の作業を終了、機材の撤収。

11月 2日 室内で図面整理・遺物洗浄・注記作業を行う。

平成23年度 (2011)

12月～2月 図面修正、遺物実測、トレース、遺物写真撮影、

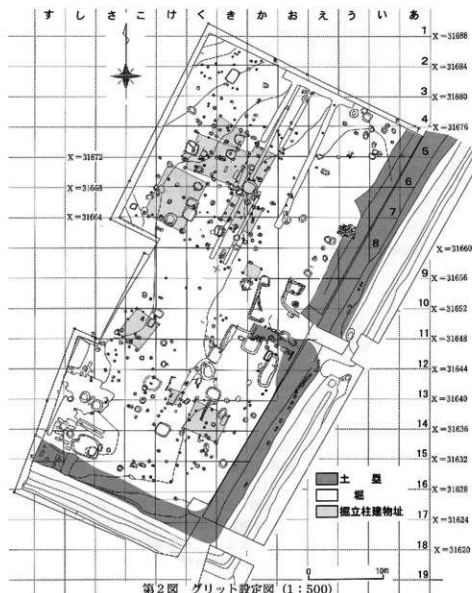
報告書版下作成、編集・執筆。

3月 報告書刊行。

## 第4節 調査の概要

主郭の南東部の調査で、南東を堀と土塁が方形に囲んでいたことが確認された。上塁の上面は削平され、基底部にわずかな痕跡を残すのみである。東側の土塁は底幅5m、南側の土塁は底幅3mほどを測ると推定される。

館の入りである虎口について、推測を含むものの明らかにすることができた。白岩城跡Ⅰの調査では、調査区の東中央で堀が切れて、土橋が検出されており、今回の調査では土橋のところで南から続



第2図 グリッド設定図 (1:500)

く土塁が西に折れて4mほど続き、さらに直角に曲がり北に折れた痕跡がみられた。

建物は掘立柱建物址が中心で、北西と南中央にまどまっている。竪穴状遺構は少なく、工房的なもののみみられない。

遺物では瀬戸大窯製品の小皿、かわらけ、内耳鍋、鉄鏝や刀の金具がある。石製品では砥石、茶臼、粉挽臼などが出土している。

遺物の年代は15C末～16Cに該当する資料であり、また刀の金具や鉄鏝など武器関連の遺物があり、平尾氏が15C中頃に佐久平尾の地に土着し、16C末に藤岡に移動した伝承や史実とあうことが明らかになった。

17C代の瀬戸美濃製品もあり、江戸時代初めにも一部は営みが継続したものとみられる。



第3図 発掘区設定図 (1:2,000)

## 第Ⅱ章 遺跡の環境

### 第1節 自然環境

本調査地点は在久市の北部、浅間山麓裾野にあたり、千曲川支流の湯川に臨む台地上にある。湯川は浅間山の東裾から流出して南流、岩村田で西に方向を変える。御代田・岩村田地域では河岸段丘を二段にわたって形成し、いたるところで極端な蛇行曲流の河川となっている。

白岩城の東1kmには山城が築かれ、秋葉山に平尾城、尾根を北にゆくと白山砦、そこから東に向かうと烽火台址といわれる平尾富士山頂にいたる。平尾富士は第三紀の死火山といわれている。白岩城跡は平尾富士の裾を巻くように、その上部に浅間火山噴出物である浅間第一軽石流（P1）が厚く堆積しているところである。

本遺跡は湯川の第二河岸段丘の縁であることから第一軽石流は浸食され、西は断崖となり、低い河岸段丘面があり、さらに下を湯川が南流している。蛇行する湯川が屈曲し城郭の三方を囲んでおり、天然の要害となっている地点である。

### 第2節 歴史的環境

本調査地点は、原始・古代の遺構は確認されていない。

岩村田を中心とした中世遺跡群では、初頭の根々井の正法寺がある根井氏館跡は木曾義仲に従った根井行親の館とされ県の史跡となっている。次いで中世前半の遺跡では、在久市中央図書館の南、野馬窪遺跡Ⅱ・Ⅲは二重の溝で囲まれ、外側の溝は一辺90m以上の「一丁四方」を測る館がある。孤立柱建物を中心として、堅穴状遺構・井戸などの中世遺構があり、遺物は12C後半～14C前半代の陶磁器・土器・刀を出土している。

岩村田市街の東にあつて湯川の断崖に望む大井城跡は三城からなり、4.王城は中世佐久の北の領主であった大井氏の居城とされている。その南の5.黒岩城跡が発掘調査され、54棟の堅穴状遺構・孤立柱建物・土坑などからは15・16世紀の遺物を出土している。大井城跡の400mほど南の13.下信濃石遺跡では、大井氏の氏寺である龍雲寺伝承地であり、大型の堅穴建物址や基壇を持ち石積で囲み整地をした平場、そして遺物は14～15C代の古瀬戸の水滴や青銅製の鏡片を出土している。

岩村田市街地の南にある観音堂遺跡は観音堂を取り巻く町屋、こども未来館のある柳堂遺跡は孤立柱建物と苑池、それらを囲む溝やかかわり溜まりがあり、有力者の館と推測される。岩村田市街の南西にある北一本柳遺跡Ⅲでは、漆刷毛や漆製品が堅穴建物址から出土し、漆の工房址が調査されている。

新幹線佐久平駅北西1kmの長土呂の周防畑遺跡群の堂常遺跡の中世の遺構は、堅穴状遺構と井戸で構成される。岩村田市街の北にある10.栗毛坂遺跡群B区（高速道路地点）では100m四方の溝により区画され、中に馬屋であろう堅穴状遺構があり、武士化した農民の館と推測されている。浅間中学校の旧校庭の南側からは中世の水田址が調査され、五輪塔を転用して尻水口に利用している。小田井の前藤部遺跡では中世の集落全容が調査されている。

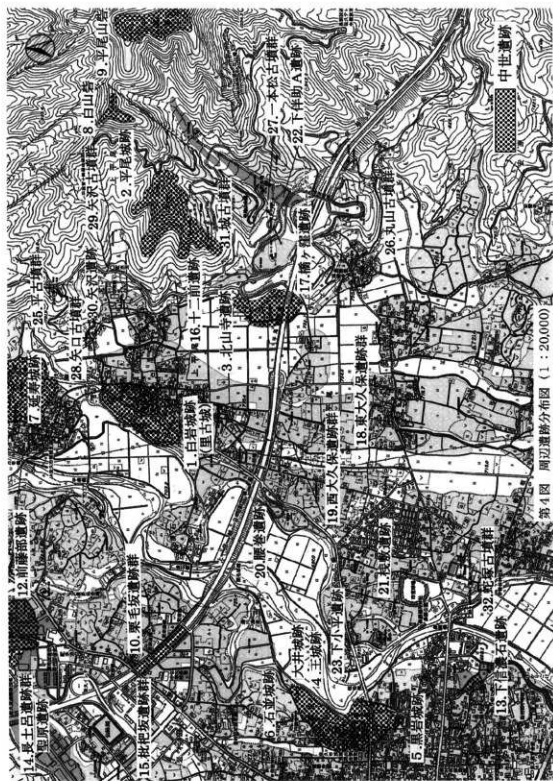
江戸の歴史書『四隣譚叢』に「国府にまされり」とは大井氏の城下町の賑わいを語っている。岩村田を基としたこれらの中世遺跡群は大井氏の活躍した時代と一致しており多彩な遺構群である。

本調査である白岩城跡はその岩村田を中心に佐久の中世の覇者である大井氏の幕下、5代にわたって仕えた平尾氏の根拠地とされている。

『佐久市志』中世編P590「平尾氏館と平尾城」によれば、

「白岩城は「しらいわ」と呼称され、古城または里古城と呼んでいる地域は、現平根小学校の裏一帯であるが、南は「うとう坂」の堀切におよんでいる。平尾氏の居館とされ、白色城・平尾屋敷城と呼んでいる記録もある。

小県郡依田に根拠を置く依田氏は、宝徳・享徳年間（1449—1454）佐久の大井持光に連年攻めら

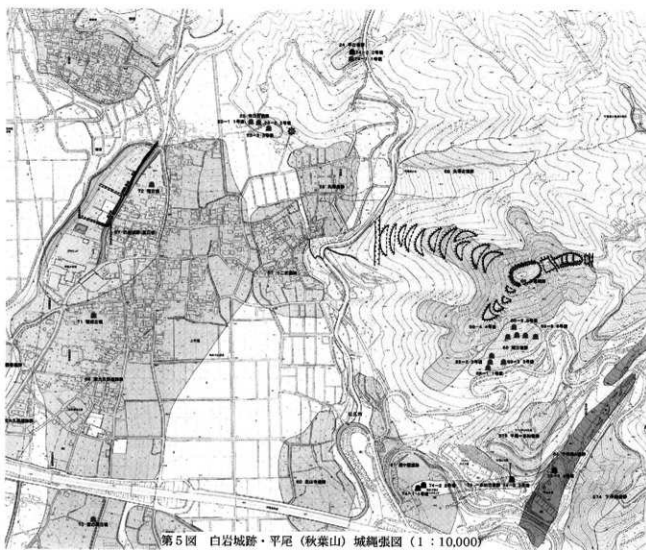


第4圖 周辺遺跡分布図 (1:20,000) E

れ、ついにその幕下となり、修理亮為泰は平尾に居を移して、平尾氏を称した。天正18年(1590)小諸城主依田(松平)康勝が、藤岡に転封になるにおよんで、平尾守芳がこれに従って平尾の地をさる。その間戦火にあうことはなかった。応仁の乱の始まる直前の永正年中(1504~20)1.1km東にある、平尾(秋葉山)頂に山城を、白山に一郭、平尾富士山頂(1,155m)には五郭と堀切りを構築した砦がある。」と記述している。

発掘調査では、昭和63年に県道草越・豊昇・佐久線の道路改良の拡幅工事に伴い、南北の堀と虎口と思われる土橋とピットが検出されている。

平尾(秋葉山)城の南西の裾野の3.北山寺遺跡(1991『上信越自動車道2』P352)は、高速道路の建設に際して調査された。掘立柱建物址1棟、竪穴建物址6棟、土坑50基、火葬墓一基を検出し、出土した銭・内耳鍋からは15C中頃~16C前半と推測され、内側石列を巡らせた竪穴状遺構内からは太刀金具が出土し、武士との関連を示すとしている。この一郭も平尾氏に関連するのであろう。出土遺物の年代が、白岩城跡より古く、小県郡から平尾に定着した頃の年代である。



### 第三章 基本層序

第Ⅱ章遺跡の環境で述べたように、本遺跡は湯川の左岸の上段の河岸段丘上にある。湯川は浅間山の東裾から流出して南流、南軽井沢地域からの泥川と合流して、西に向きを変え、御代田・岩村田地域では、地殻変動の隆起運動の影響から下刻作用顕著な河岸段丘を二段に渡って形成し、しかもいたるところで、極端な蛇行曲流の河川となっている。

この付近の地層はすべて浅間火山の噴出物によって構成される。2回の軽石流の噴出は、最初の噴出物を第一軽石流（1万3千年前）、後から噴出したものを第二軽石流という。浅間山南麓に、広く展開した軽石流は、塚原泥流の地域に達すると、西と南に分かれ、南にむかった軽石流は湯川の谷を埋めた。（1988、『佐久市志 自然編』P83、1986白倉盛男『大井城跡』）

本遺跡の基盤は第一軽石流が地盤である。その上面には漸移層、低地には黒色土が堆積しており、調査地点には整地層がみられた。整地層は炭化物・ロームブロックを含み、人為的に埋土されている。

I層 黒褐色土層（耕作土）

II層 黒褐色土層（10YR2/3）整地層。

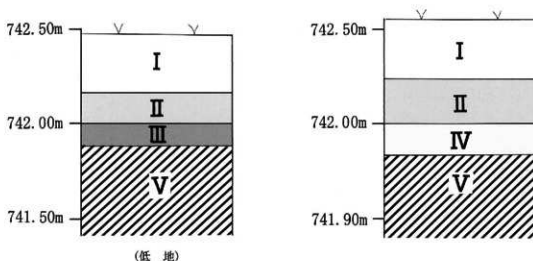
ロームブロック・黒褐色土ブロック・炭化物・ローム粒子・パミスを含む。

暗褐色土層（10YR3/3）整地層。ロームブロック・炭化物・ローム粒子・パミスを含む。

III層 黒褐色土層（10YR2/2）地山層。わずかにローム粒子・パミスを含む。

IV層 暗褐色土層（10YR3/4）漸移層。ローム粒子・パミスを含む。

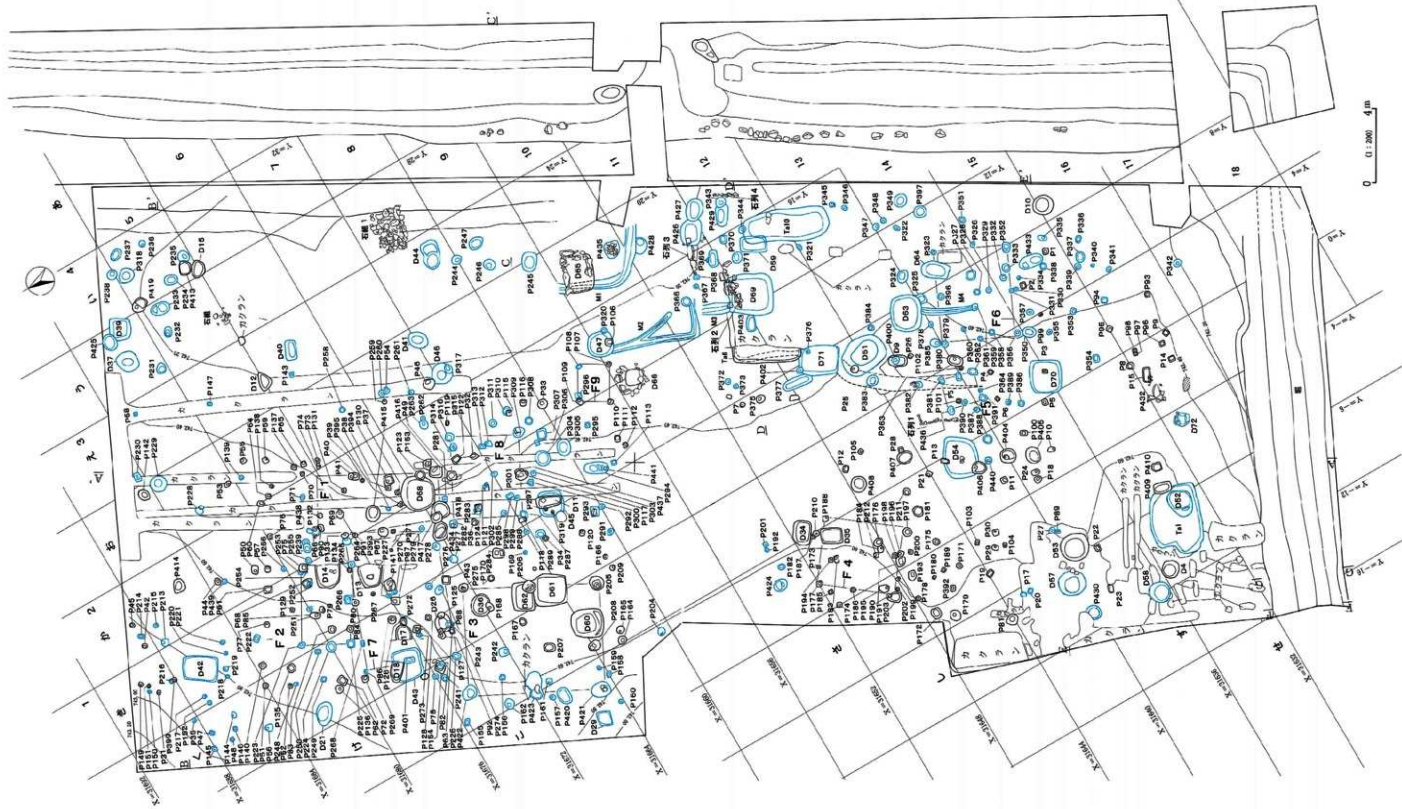
V層 黄褐色土層（10YR5/6）第一軽石流



第6図 基本層序模式図







第7圖 白岩島燈臺全体圖

## 第IV章 遺構と遺物

### 第1節 遺構

#### 1. 掘立柱建物址

掘立柱建物址は調査時点では単独ピットとして記録されており、報告書作成時に組んでいる。8棟を抽出し、同じ棟の柱穴の検出面が上・下にわたるものは、上面にあけて断面図を作成している。F2・F5・F6は下面である。

##### (1) F1号掘立柱建物址

か5グリッドにあり、検出ピットは2間×1間、6.4m×3.2mを測る南北棟である。柱穴に礎石のあるP66・P434・P416・P130でピット形が方形基調の比較的浅い掘り込みに石を置いている。これらの柱間は桁行3.2m梁間2.4mを測り、中間に柱がない。浅い遺構であるため、検出時に削平されたためか、明確な建物としては成り立たない可能性があるが、しかし、何らかの建物は想定したい。

##### (2) F2号掘立柱建物址

か5グリッドにあり、下面で検出された。2間×1間、4.0m×2.48mを測る東西棟である。側柱で方形と円形のピット形で構成される。

付近にピットが多く、他にも建物址があるようである。

##### (3) F3号掘立柱建物址

く6グリッドにあり、3間×2間で、7.2m×5.6mを測る。柱穴の底面に扁平な石を置いて、礎石とするものがP275・P423・P421・P205・P206の5個ある。総柱としたが、中央列は西に寄っており、P242・P156・P162・P157・P159・P208で2間×2間、4.96m×2.64mに組むことができる。

##### (4) F4号掘立柱建物址

け11グリッドにあり、2間×2間の東西棟で、4.12m×3.6mを測る。柱穴は整った位置にはない。

##### (5) F5号掘立柱建物址

け13グリッドにあり、下面で検出された。1間×1間で、1.8m×1.6mを測る。柱穴の深さが西側のみ深く異なる。桁行の中間にP363・P390があり、2間×1間ともいえる。

##### (6) F6号掘立柱建物址

き14グリッドにあり、下面で検出された。2間×2間の総柱である。4.8m×3.88mを測り、桁行柱間2.4m梁間柱間1.94mである。

##### (7) F7号掘立柱建物址

か5グリッドにあり、3間×2間+縁の総柱で、東に縁側が付く。桁行7.4m、梁間2.4mを測る。検出面が異なることから上面で断面図を作成している。柱穴はほぼ同一地点に2個あり、立て替えがなされたようである。

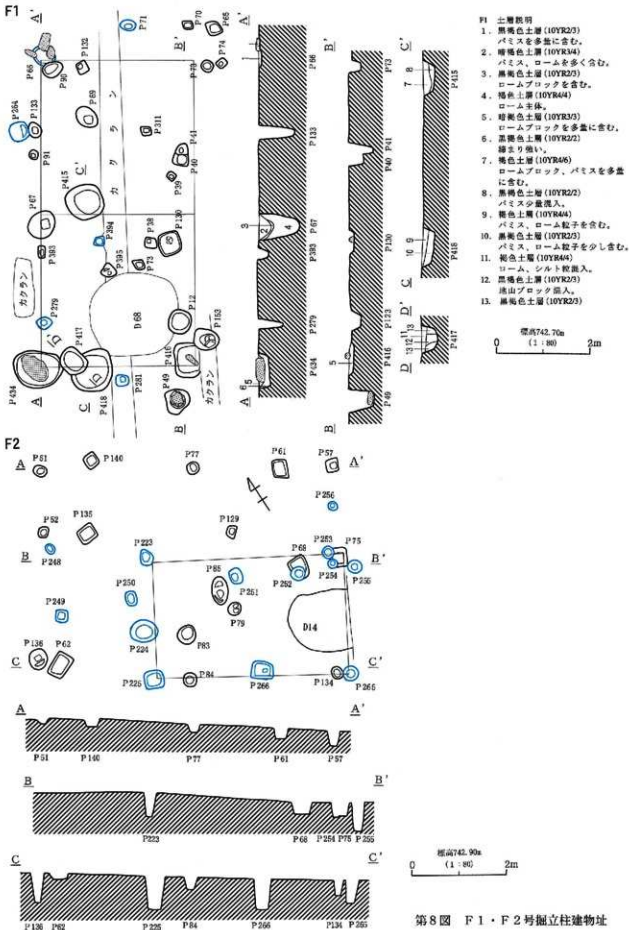
##### (8) F8号掘立柱建物址

か7グリッドにあり、2間×1間の側柱で、4.4m×3.6mを測る。ピットの底に礎石を置くピットP49・P282・P287・P309があり、P49・P282・P287は平面形が方形を呈す。煩雑になるので省いたが梁間の間に内周して小ピットがあり（全体図参照）、間数は増えるかも知れない。上面と下面で検出され上面にあわせて断面図を作成している。

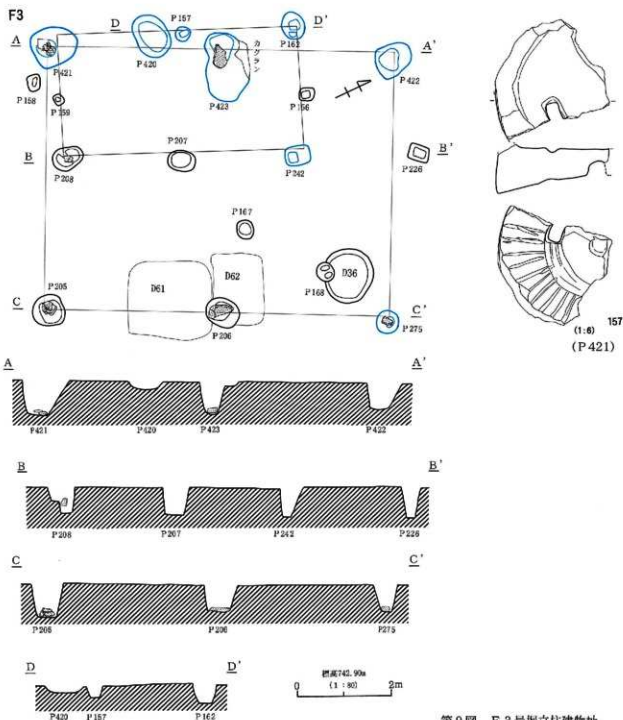
##### (9) F9号掘立柱建物址（全体図参照）

か9グリッドにあつて、P108・P109・P110・P107が1間×1間の1.96×1.6mを測る。南に接して石組みを伴うD66号土坑がある。

柱穴はいずれも浅く6～28cmを測る。



第8図 F1・F2号掘立柱建物址



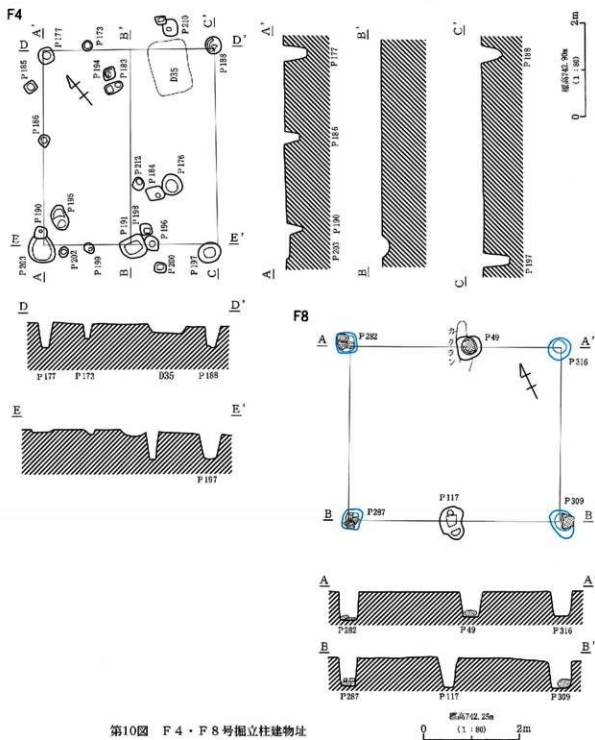
第9図 F3号掘立柱建物址

## 2. 竪穴状遺構

竪穴状遺構は3棟と数が少なく、柱穴や、火床を持つものは検出されていない。

### (1) T a 1 竪穴状遺構

し15グリッドにあり、長軸3.36m、短軸2.46mを測り、南西に張り出しを持つ隅丸長方形を呈し、深さは最大で25cmを測る。D52と重複するが伴うものか新旧については不明である。底面は平坦である。



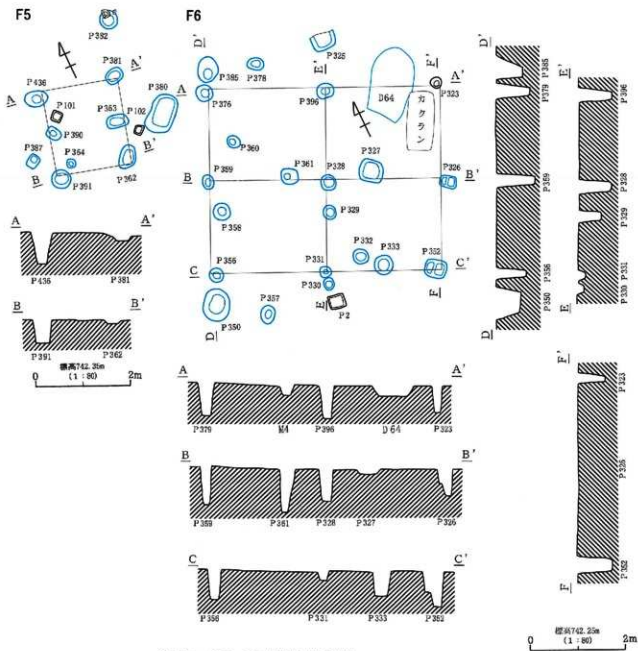
第10図 F4・F8号掘立柱建物址

(2) Ta6 竪穴状遺構

き11グリッドにあり、東は攪乱（トレンチ）に切られて不明である。長軸3.37mを測り、長細い長方形を呈す。

(3) Ta10 竪穴状遺構

お12グリッドにあり、長軸3.96m短軸1.2mを測り、不整形な長方形を呈す。土塁の脇にあり、断面は船底形を呈す。



第11図 F5・F6号掘立柱建物址

### 3. 土坑

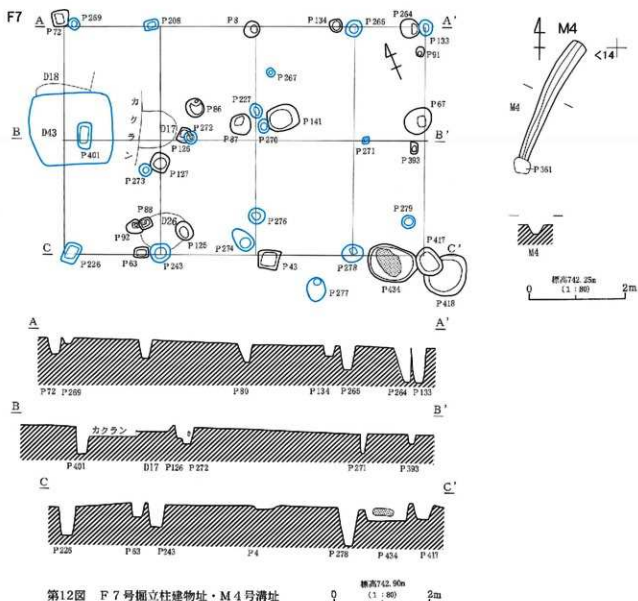
土坑は45基調査した。規模・形態で分類し、その中で形態等で特徴のある土坑について述べる。

(1) 方形を呈し、長軸180cm前後の規模の土坑

D43・D54・D61・D63・D68・D69・D70は 竪穴状遺構と同様平坦な底面を持ち、内耳鍋片・かわらけなどの中世遺物を出土する。

★D54号土坑 (I B4)

こ13にあり、長軸5.12m短軸1.8m深さ59cmのやや歪んだ長方形を呈し、P13・P406に切られる。出土遺物には五輪塔の水輪、軽石製品、内耳鍋、青銅製の刀柄縁、鉄製の角軸が出土している。柄縁の刀幅は3.4cm厚さ1.2cmを測る。



第12図 F7号掘立柱建物址・M4号溝址

★D61号土坑 (IB4)

く7グリッドにあり、長軸1.74m短軸1.62m深さ0.69mを測るほぼ方形の土坑である。F3号掘立柱 (P206) に切れ、D61と接している。播鉢、かわらけ、内耳鍋、須恵器の杯片を出土する。近世の遺物を混入する。

(2) 長方形または楕円形で中規模の土坑

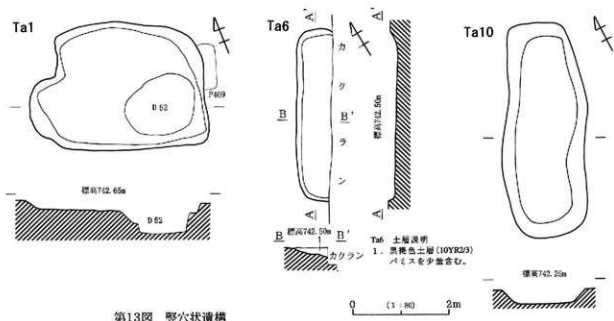
長方形ないし楕円形を呈し、比較的規模が大きく、底面が船底状である。

★D11号土坑 (IC3)

き8グリッドにあり、長軸1.36m短軸0.58m深さ0.28mを測り、長方形を呈す。内耳鍋ほぼ1個体を出土し、火熱を受けた石と砥石を出土している。ただし、土坑の覆土に炭化物・焼土がみられないことから、焼成坑ではないようである。

★D51号土坑 (IB4)

く12グリッドにあり、楕円ないし隅丸長方形で長軸2.48m短軸1.80m深さ0.76mを測り、底面は船底状である。かわらけ・火鉢を出土する。



第13図 竪穴状遺構

★D65号土坑 (I B4)

お10グリッドにあり、土坑内側の縁に石組を持つ土坑で、長軸2.16m短軸1.56m深さ0.82mを測る。青磁碗、周辺からであるが、外面に金メッキの管状の青銅製品、角釘が出土している。西端で幅50cmほどの溝M1と重複している。底面は片側が落ち込んでいる。

(3) 小型の円形・楕円形土坑

やや不整な楕円形で、長軸で1m前後を測り、深さを持たず浅く、底面が船底状の土坑。内耳鍋を出土する土坑が多い。焼成坑などが推測される。

★12号土坑 (II B3)

え5グリッドにあり、長軸0.94m短軸0.76m深さ0.24mを測り、内耳片を出土する

★D15号土坑 (II B3)

い5グリッドにあり、長軸1.0m短軸0.62m深さ0.17mを測り、内耳鍋片を出土する。

★D21号土坑 (II B3)

く4グリッドにあり、長軸1.28m短軸0.88m深さ0.25mを測る。覆土に焼土ブロック・炭化物を多く含んでいる。

★D37号土坑 (II A3)

う4グリッドにあり、長軸1.1m短軸1.04m深さ0.25mを測る。内耳鍋片を出土する。

★D44号土坑 (III)

え8グリッドにあり、長軸1.48m短軸0.88m深さ0.41mを測り、楕円形に浅い方形部が接続している。底面に炭化物を多量に含む。出土遺物には内耳鍋片と磨石がある。

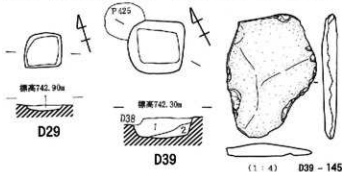
★D66号土坑 (II B4)

か10グリッドにあり、土坑の上面で石が方形に組まれ、内周で1.2×0.9mを測る。堀方は楕円形で長軸2.12m短軸1.88m深さ0.42mを測る。

(4) 小型の方形土坑



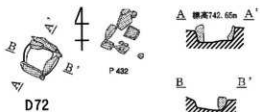
IA 2 (方形 60~90 cm)・IA 3 (方形 90~170 cm)



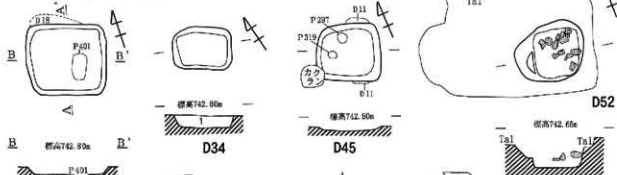
D29 土層説明  
1. 褐色土層(10YR8/4)  
ローム、黒褐色土ブロック混入。

D34 土層説明  
1. 黒褐色土層(10YR2/3)  
ローム粒子、バミスを少量含む。

D39 土層説明  
1. 暗褐色土層(10YR3/5)  
ロームブロックがマール状に混入。  
2. 褐色土層(10YR8/4)  
ロームブロック、バミス混入。

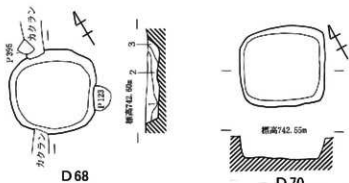


IB 3 (やや長方形 長軸 90~170cm)



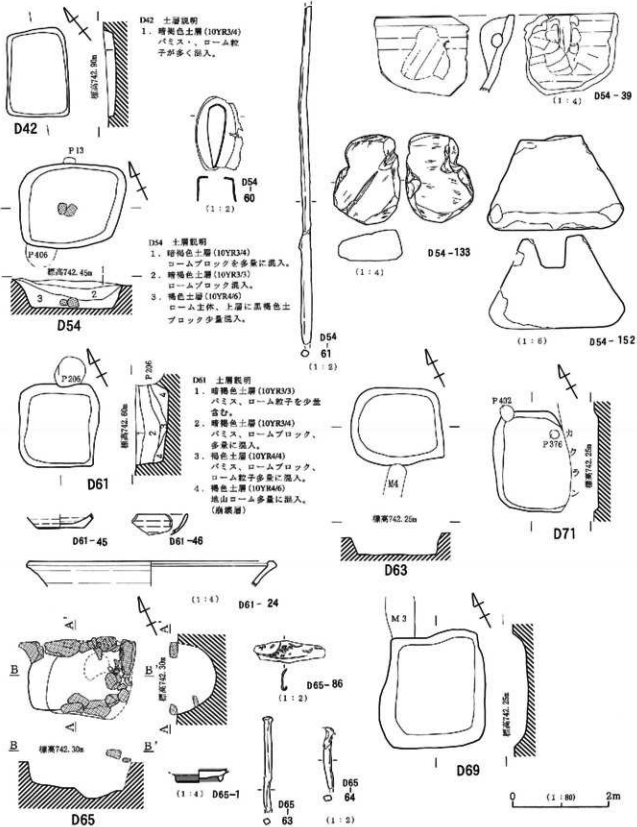
D60 土層説明  
1. 暗褐色土層(10YR3/5)  
バミスを含む。  
2. 暗褐色土層(10YR3/5)  
ロームブロック多く混入。  
3. 黒褐色土層(10YR2/3)  
ロームブロック多く混入。  
4. 黒褐色土層(10YR8/4)  
境山ローム、多量に混入。  
5. 暗褐色土層(10YR3/4)  
ローム粒子、バミス多く混入。  
6. 褐色土層(10YR8/4)  
ローム、バミス多く混入。

D68 土層説明  
1. 暗褐色土層(10YR2/3)  
バミス、ローム混量に含む。  
2. 黒褐色土層(10YR2/2)  
ロームを少量を含む。  
3. 暗褐色土層(10YR3/4)  
ローム多く混入。(層  
境か)



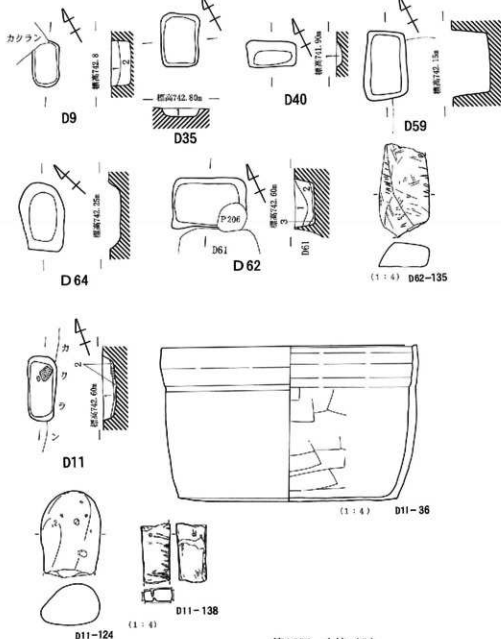
第14図 土坑(1)

I B 4 (やや長方形・長軸/短軸1~1.5・規模(長軸) 4(170~250cm))



第15図 土坑(2)

IC 3 (長方形・長軸/短軸1.5~2・規模(長軸) 3(90~170cm))



- D9 土層説明  
 1. 濃い黄褐色土層(10YR6/3) パミス、ロームブロック多く混入。  
 2. 黒褐色土層(10YR2/3) パミス、ロームブロックを含む。

- D11 土層説明  
 1. 暗褐色土層(10YR3/3) パミス、ロームブロック多く混入。  
 2. 黒褐色土層(10YR2/3) ロームブロックを少し含む。

- D35 土層説明  
 1. 暗褐色土層(10YR3/4) ロームブロックを少量含む。

- D40 土層説明  
 1. 黒褐色土層(10YR2/2) パミスを微量に含む。

- D61 土層説明  
 1. 暗褐色土層(10YR3/3) パミス、ローム粒子を少量含む。  
 2. 暗褐色土層(10YR3/4) パミス、ロームブロック、多量に混入。  
 3. 褐色土層(10YR4/4) パミス、ロームブロック、ローム粒子 多量に混入。  
 4. 褐色土層(10YR4/5) 堆山ローム多量に混入。(割壊層)

- D62 土層説明  
 1. 暗褐色土層(10YR3/2) パミス、ローム粒子を少量含む。  
 2. 暗褐色土層(10YR3/3) ロームブロックを多く含む。  
 3. 褐色土層(10YR4/5) ローム粒子多く混入。

0 1:80 2m

第16図 土坑(3)

★D72号土坑

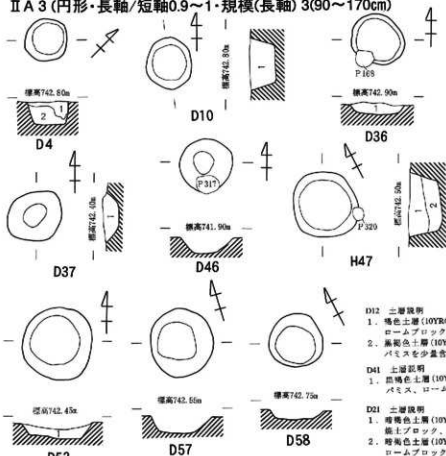
さ10グリッドにあり、西壁を除いてコの字に石が組まれている。規模は長軸0.81m短軸0.67m深さ0.3m、石の内面では幅0.64mを測る。隣接してP432の同様の石組がある。堀方不明。

(5) 石敷遺構

★石組1

う8グリッドにあり、約長軸2.32m短軸2.12mの長方形範囲に礫が平坦に並ぶ。南端は列状に整えている。堀方がないので土坑としなかった。

II A 3 (円形・長軸/短軸0.9~1・規模(長軸) 3(90~170cm)



- D4 土層説明  
1. 暗褐色土層(10YR3/3)  
ローム粒子、焼土ブロック、炭化物を含む。  
2. 褐色土層(10YR4/6)  
ロームブロック、パミス混入。

- D10 土層説明  
1. 暗褐色土層(10YR3/3)  
パミス、ロームブロックを少量含む。

- D36 土層説明  
1. 暗褐色土層(10YR3/2)  
ロームブロックを少量含む。

- D37 土層説明  
1. 暗褐色土層(10YR3/3)  
パミスを微量に含む。

- D47 土層説明  
1. 暗褐色土層(10YR3/3)  
パミス、ローム粒子を多く含む。  
2. 暗褐色土層(10YR3/4)  
ローム粒子がマール状に多く混入。

- D53 土層説明  
1. 暗褐色土層(10YR3/3)  
ロームブロック多く混入。

- D12 土層説明  
1. 褐色土層(10YR4/6)  
ロームブロック、パミス混入。  
2. 暗褐色土層(10YR2/3)  
パミスを少量含む。

- D15 土層説明  
1. 暗褐色土層(10YR3/4)  
パミスを微量に含む。

- D41 土層説明  
1. 暗褐色土層(10YR2/2)  
パミス、ローム粒子を少量含む。

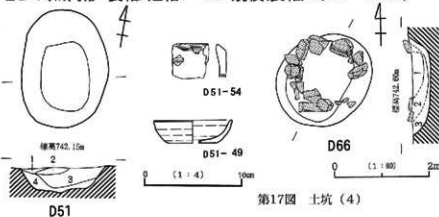
- D26 土層説明  
1. 暗褐色土層(10YR3/3)  
砂質。結りなし。

- D21 土層説明  
1. 暗褐色土層(10YR3/4)  
焼土ブロック、炭化物を多く含む。  
2. 暗褐色土層(10YR3/3)  
ロームブロック混入。

II B 3 (楕円形・長軸/短軸1~1.5・規模(長軸) 3(90~170cm)



II B 4 (楕円形・長軸/短軸1~1.5・規模(長軸) 4(170~250cm)

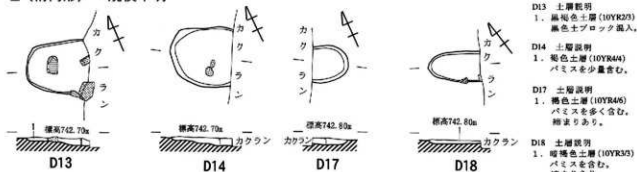


- D51 土層説明  
1. 暗褐色土層(10YR3/3)  
ロームブロック多く混入。  
2. 褐色土層(10YR4/6)  
ローム主体。パミスを多く含む。  
3. 暗褐色土層(10YR3/4)  
ローム粒子、ロームブロック多量。  
パミス少し混入。  
4. 褐色土層(10YR4/6)  
ローム主体。炭化物が。

- D66 土層説明  
1. 暗褐色土層(10YR3/3)  
パミス含む。  
2. 暗褐色土層(10YR3/3)  
パミス、ロームブロックわずかに含む。  
3. 褐色土層(10YR4/6)  
ローム多量に混入。

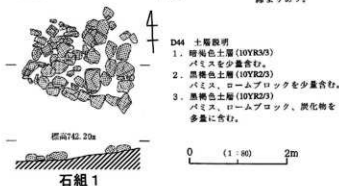
第17図 土坑(4)

## II (楕円形)・規模不明



- D13 土層説明  
1. 黒褐色土層 (10YR2/3)  
黒色土ブロック混入。
- D14 土層説明  
1. 褐色土層 (10YR4/4)  
ベニスを少量含む。
- D17 土層説明  
1. 褐色土層 (10YR4/6)  
ベニスを多く含む。  
締まりあり。
- D18 土層説明  
1. 暗褐色土層 (10YR3/5)  
ベニスを含む。  
締まりあり。

## III (不整形)



0 (1:80) 2m

第18図 土坑 (5)

## 4. 単独ピット (全体図参照)

### (1) 楕列

お〜き 3・5・8・9 グリッドにあり P228・P60・P71・P131・P38・P302・P303・P441は2.16m間隔ほどで南北に直線になっており、楕列とされようか。その西側に掘立柱建物・土坑・ピットが集中している。

### (2) ピット群

ピットの集中箇所は大きくは数カ所にある。調査区の北東のあいう4・5グリッドあたりには小型の土坑と、大きいピットが集中している。内耳鍋片が多く出土している。

北西隅には一辺20cm前後の小型の方形ピットが等高線と平行して並んでいる。

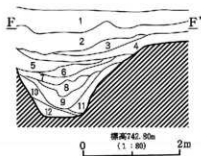
お〜き 4〜10グリッドは掘立柱建物とピット、土坑が最も多い。建物が集中していたのであろう。

南側はき〜こ13〜16グリッド、こ〜き11〜13グリッドに単独ピットが集中している。

## 5. 南堀と土壘・溝址

調査区の南端には堀が検出された。東西方向に13mを調査し、上幅2.8〜2.88m、深さ1.2〜1.6mを測る。断面逆台形の箱堀で、底面の幅は西に広くなり48〜80cmを測る。

堀を覆っている第3・4層の黒褐色土 (10YR2/3) は炭化物・焼土ブロックを含む。土壘層の崩壊層とみられよう。やや西に寄ったG地点でとらえたセクションには土壘の痕跡がのこり、黒褐色土 (10YR2/3) の黒色土ブロックを含む土の上に、暗褐色土 (10YR3/4) を盛っている様子がわかる。この南堀の北は幅1mのテラスをもち、その内側は3m幅で遺構が検出されず、土壘であったと推測される。



#### 土層説明

1. 暗褐色土層 (10YR3/4)  
耕作土。
2. 暗褐色土層 (10YR3/5)  
バミス、炭化物少量含む。
3. 黒褐色土層 (10YR2/3)  
バミス、炭化物、ローム粒子少量含む。
4. 暗褐色土層 (10YR2/3)  
バミス、炭化物、ローム粒子、粘土ブロック少量含む。上部に比べやや硬い。
5. 暗褐色土層 (10YR2/3)  
バミス、ローム粒子、黒色土ブロック含む。
6. 暗褐色土層 (10YR2/3)  
バミス、ローム粒子、黒色土ブロック、炭化物含む。
7. 暗褐色土層 (10YR3/4)  
赤色ロームブロック多く含む。
8. 暗褐色土層 (10YR2/3)  
赤色ロームブロック、黒色土ブロック含む。
9. 暗褐色土層 (10YR3/2)  
バミス、赤色ロームブロック少量含む。
10. に近い黄褐色土層 (10YR4/3)  
地山ロームブロック多く混入、バミス含む。
11. 褐色土層 (10YR4/6)  
地山ロームブロック多く混入。
12. 暗褐色土層 (10YR3/3)  
上部はローム層状に堆積。

第19図 南塚断面図

調査区の東側では削平され、高さはないが土塁の痕跡を残す土層が確認でき、黒褐色土・褐色土・暗褐色土を盛っている。北のCセクション地点で基底幅5.7mを測っている。

## 第2節 遺物

### 1. 陶磁器

中世の陶磁器で、舶載品は1の青磁碗と2の白磁皿 (15~16C) のみで、他は瀬戸の大窯製品である。灰釉の丸皿が11点、天目茶碗が2点実測された。大窯1の15C末~16C初頭と大窯2の16C前半の産である。これらの大窯製品は遺構に伴うものではなく、調査区の北検出に多く、グリットで見ると北側の東半域に集中するようである。また近世初頭17Cの瀬戸美濃の輪角皿、近世末の瀬戸・美濃製品がある。

### 2. 内耳鍋・火鉢・土板

内耳鍋破片の出土は遺構一覧表備考欄に示したようにかなりの遺構数を数えるが、実測個体は9点で、法量のわかるものは3個体である。36・37・41の3個体は内耳が添付されておらず、36は残存からみて内耳の付かない鍋であろう。口径27~28cm、底径23cm前後、器高13.3~16.7cmを測る。同時期とみられる資料は大井城跡 (黒岩城跡) にみられ、AⅡ・AⅢに分類されているものと近いようである。黒岩城跡の廃絶時期が16C後半とされている。金井城跡 (口径27.7~36cm、器高14.3~19.4cm)、横名平遺跡 (口径28.3~35.9cm、器高12.2~18.9cm) の資料に比べると口径、高さともに小ぶりである。

火鉢はいずれも近世の所産とみられる。

内耳の体部を再利用した土板が2点出土する。

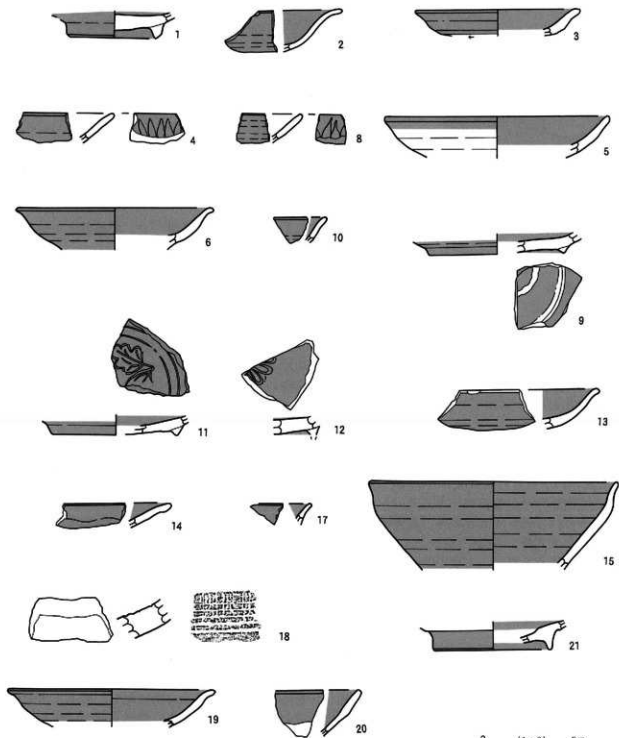
### 3. かわらけ

かわらけの実測資料は9点で7点が中世、2点は近世とみられる。中世のかわらけは口径8cm前後、器高2.0~2.4cmの小型品である。口縁下部が膨らみを持ち、口縁が端反に開く器形である。黒岩城跡で分類される、A3 (小型品、口径6.7~8.6cm、器高1.6~2.6cm) (ロクロ成形、底部回転糸切り、口縁下部で丸みをもって開き、口縁端部は短く引きだされるように外反する。) のかわらけと同様である。

近世のかわらけは口縁が薄く全体に内湾して外に開く器形である。

### 4. 金属製品

青銅製品と鉄製品がある。青銅製品は60柄縁、62金メッキのキャップ形の小型品、80鞘尻、86飾金具、91・94の煙管、95のベルトの金具がある。柄縁、鞘尻は刀の付属品で、D60号土坑から出土した60の柄縁は刃渡は3.4cmを測る。野馬窟遺跡D216 (土坑の規模は1.17×1.0×0.44cm、長方形)

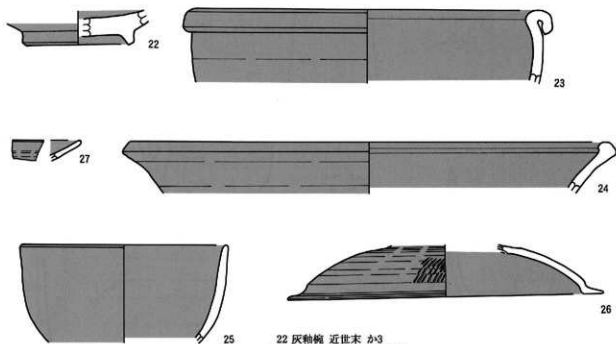


- 1 青磁 碗 泉原 中世D65  
 2 白磁 皿 15C~16C 中国 北検出  
 3 灰軸腰折小皿 15C末~16C初頭 え4  
 4 灰軸丸皿 16C前 う7  
 5 灰軸丸皿 16C前 う7  
 6 灰軸丸皿 15C末~16C初頭 二16  
 8 灰軸丸皿 16C前 北検出

- 9 灰軸丸皿 16C 北検出  
 10 灰軸丸皿 15C末~16C初頭 北カクラン  
 11 灰軸丸皿 16C前 北検出  
 12 灰軸丸皿 16C 北カクラン  
 13 灰軸丸皿 15C末~16C初頭 北検出  
 14 灰軸輪壳皿 瀬戸美濃 17C前 南検出

- 15 天目茶碗 15C末~16C初頭 北検出  
 17 天目茶碗 15C末~16C 北  
 18 土師質椀鉢 在地中世 17C う8  
 19 鉄軸輪壳皿 17C前 北カクラン  
 20 鉄軸小碗 17C 南検出  
 21 灰軸輪壳皿 17C前 北検出

第20図 陶磁器 (1)



22 灰釉筒 近世末 か3  
 23 灰釉こね鉢 近世末 か3  
 24 錆釉唾鉢 18C末～19C前 D61  
 25 鉄釉碗 18C末～19C前 寸16  
 26 錆釉(土鍋)蓋 幕末 北検出  
 27 灰釉輪壳皿 唐津 18C初頭 さ15

第21図 陶磁器(2)

から出土した小刀は長さ26.5cm刃幅3.0cm厚さ1.1cmである。(1910『野馬窟遺跡Ⅱ・Ⅲ』)60の柄線の刀の長さは不明であるが同程度の刀幅の刀が想定される。また北東隅から出土した80の鞘尻は3.5cmの幅を測る。D65付近から出土した金メッキ製の86は板状で丸みをもつ表に彫金がなされた破片である。煙管の吸口は真鍮製か銅製で、近世～近代のものと思われ、長さ7.1cmを測る。

鉄製品は角釘、65毛抜、78・85刀子、鉄鎌、火打、角軸がある。最も多いのは角釘で、15点を数える。か4グリッドにあるピットの径19cm深さ37cmのP256からは角釘が7点まとまって出ている。鉄鎌は鎌身が三角形の92と鑿箭の77がある。鎌身長が4cmと5.5cmを測る大型品である。81は鏝(かすがい)形の火打金具であろうか。

5. 古銭

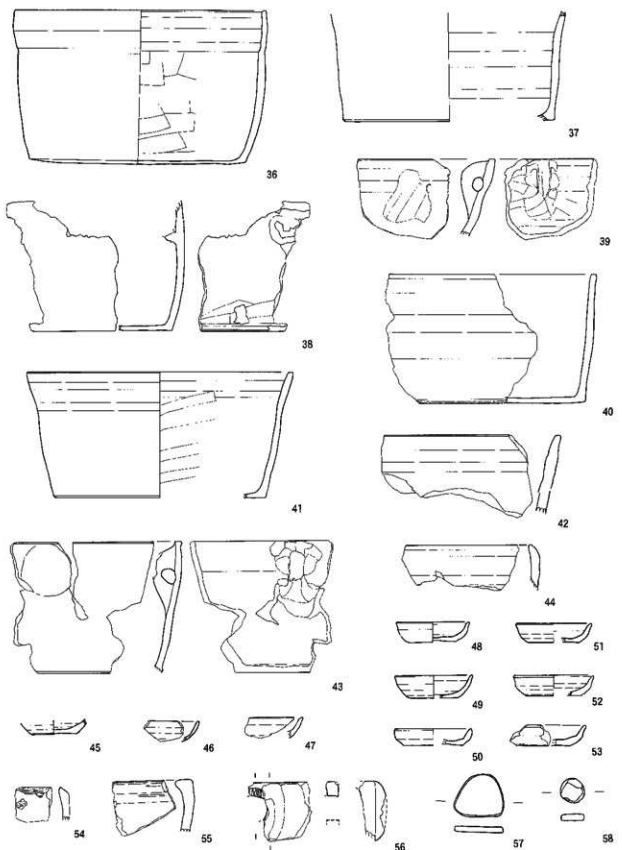
渡来銭15枚と寛永通寶3枚がある。渡来銭は開元通寶(初鑄年845)唐銭、至道元寶(初鑄年995)～紹聖元寶(初鑄年1094)の北宋銭が8枚、洪武通寶(初鑄年1368)3枚と永樂通寶(1408)2枚の明銭がある。

渡来銭は2カ所の集中しており、一つは北東隅であり、北宋銭が集中する。ピットと土坑群の東で土塁の西下にあたる。他は西の中央入り口にあり、石列が残っていた土塁の南地点である。こちらは明銭が出土している。

6. 石製品

石製品は編物石、軽石製品、砥石、台石、スクレイパー、硯、茶臼、粉挽臼、五輪塔がある。打製石斧が1点みられた。136の硯は砥石に転用されている。141の砥石は刃物を研ぐというより、曲面のミガキに使用しているようである。石臼は茶臼4点、粉挽臼上臼3点、下臼3点がある。いずれも破砕品で、完形はない、石組、石列から出土し、製品としての出土状況はなく、石材として転用され





36 16C D11  
 37 16C P419  
 38 16C D45  
 39 16C D54  
 40 16C 1号石列 付13

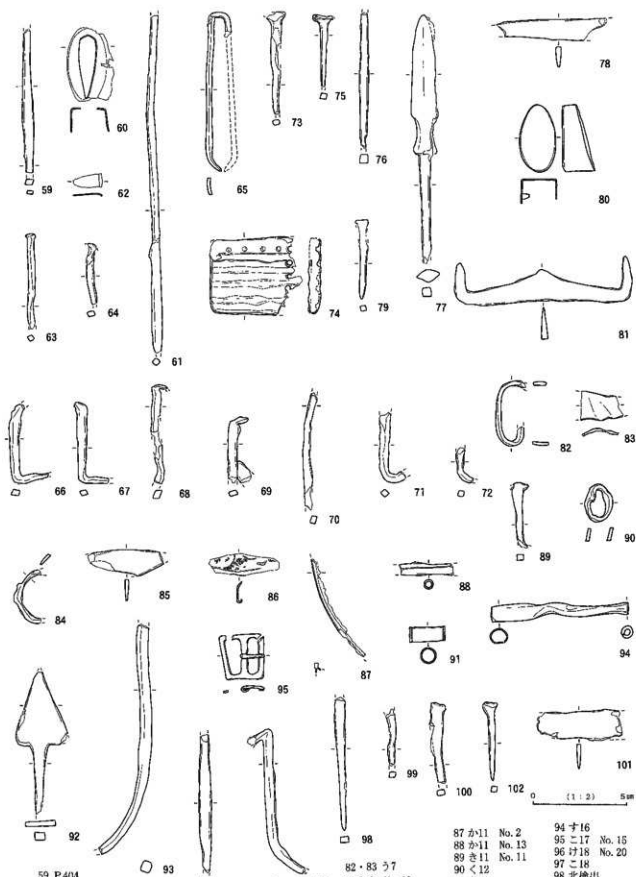
41 16C 54  
 42 16C中 北検出  
 43 16C 北検出  
 44 15C末 1号 北検出  
 45 16C前 D61

46 近世 D61  
 47 16C前 D15  
 48 16C前 P426  
 49 16C前 D51  
 50 近世 <14

51 16C前 L15  
 52 16C前 北検出  
 53 16C前 北検出  
 54 D51  
 55 在地近世 付17

56 近世 カクラン  
 57 中世 き9  
 58 中世 北カクラン

第22図 内耳鍋・火鉢・かわらけ・土板



59 P 404  
60・61 D 54  
62 P 427  
63・64 D 65  
65 P 178  
66~72 P 256

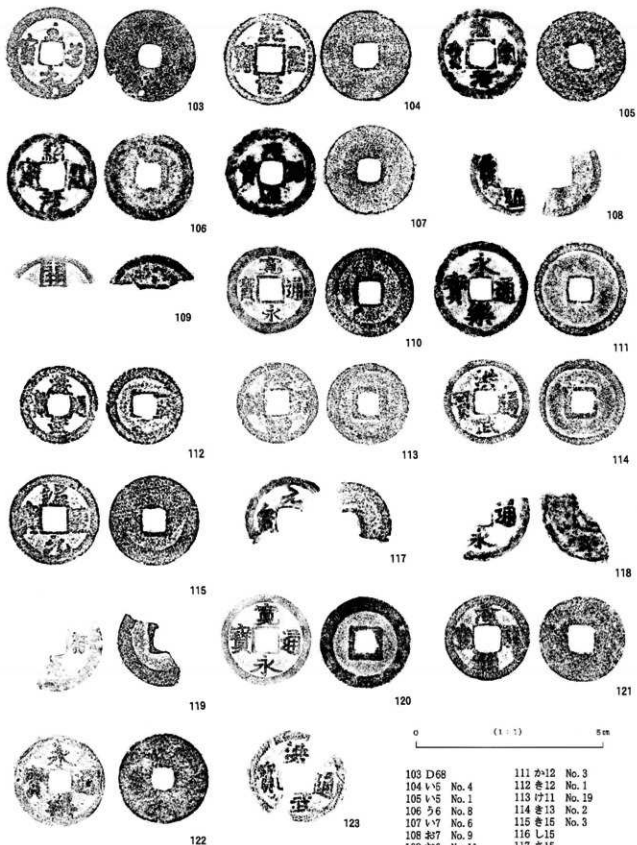
73 P 261  
74 P 380  
75 南無9層  
76 北検出  
77 < 4

78・79 い  
80 銅製品 う6 No. 5  
81 う5 No. 7

87 か11 No. 2  
88 か11 No. 13  
89 き11 No. 11  
90 < 12  
91 き13  
92 < 13  
93 こ14

94 す16  
95 こ17 No. 15  
96 け18 No. 20  
97 こ18  
98 北検出  
99 北検出  
100 北検出  
101 北カクラン  
102 北検出

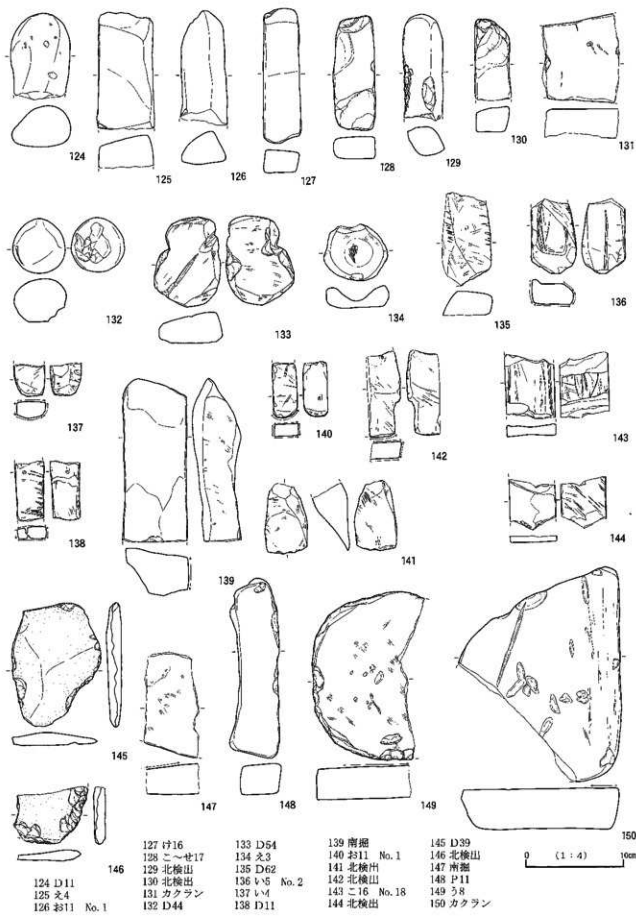
第23図 金属製品



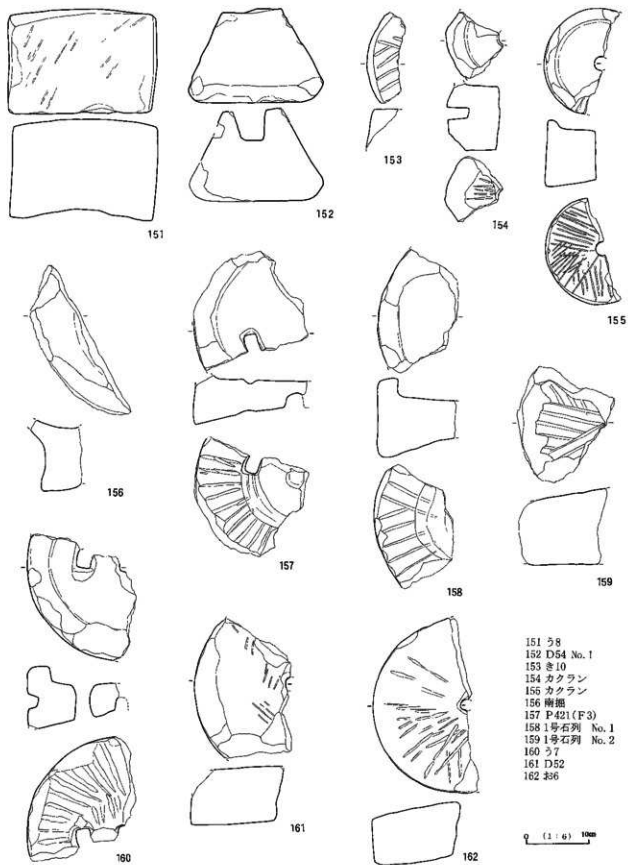
第24圖 古錢

0 (1:1) 5cm

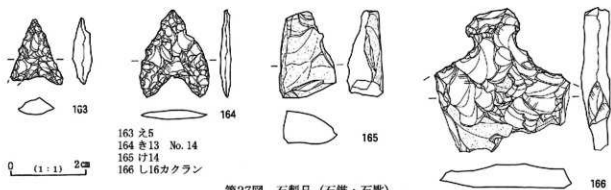
- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 103 D68        | 111 2×12 No. 3  |
| 104 1×5 No. 4  | 112 12 No. 1    |
| 105 1×5 No. 1  | 113 1711 No. 19 |
| 106 5×6 No. 8  | 114 13 No. 2    |
| 107 1×7 No. 6  | 115 15 No. 3    |
| 108 3×7 No. 9  | 116 L15         |
| 109 2×6 No. 11 | 117 15          |
| 110 2×11 No. 1 | 118 16          |



第25図 石製品 (砥石・磨石・台石他)



第26図 石製品 (五輪塔・石臼)



第27図 石製品 (石鎌・石匙)



第28図 骨・歯

第29図 中世以前の出土遺物

ている。

五輪塔は火輪と地輪が出土している。

## 7. 羽口

羽口の破片が3片攪乱より出土する。

## 8. 骨

グリッドからウマカウシの骨と歯が出土する。耕作土からの出土なので分析はしなかった。

## 9. 中世以前の遺物

縄文土器が3片、弥生時代後期の赤色塗彩の壺片、黒曜石製の石鎌・石匙が出土する。

## 第V章 まとめ

白岩城跡は平尾氏の居城と知られ、里古城ともよばれている。伝承では小泉郡の依田氏が享徳元年(1452)に佐久に来て平尾氏を名乗ったとされている。当時の佐久では大井持光が永寿王丸を支持し、文安4年(1477)その永寿王丸が関東管領に補せられ、鎌倉方足利成氏として復讐。大井持光は佐久において大きな勢力を持ち、文明16年(1484)村上に大井城を焼かれるまでが大井氏の全盛期であった。

宝徳・享徳(1449～1954)年間小泉の依田為頼は大井氏に侵され、大井氏の幕下となった。弟依田為泰は大井氏に従い佐久郡平尾村に移住し、「平尾」氏となった。村上に攻められ大井宗家が滅びた後も芦田の大井家の勢力下にいたようである。

天文12年(1543)武田春信が佐久に侵入、平尾氏は翌天文13年に降伏している。1559年には平尾から一時立ち退き松井田の客将となる。松井田城はその後陥落するが、許されて信玄に仕え、平尾に戻る。天正3年(1575)には平尾大社本殿の再建が平尾守芳によりなされている。(1991 胡桃沢)

天正10年(1582)武田と織田が滅亡した後、徳川家康が信濃国の大半を平定した。佐久郡では依田(芦田)信蕃(のぶしげ)が武田の配下から徳川氏に転じ、11月に岩村田城を攻め落としている。(1993『佐久市志』)白岩城も『三河物語』に「平尾の屋敷城」と記述され、岩村田の城(黒岩城か)とともに平定されている。(1984『大井城関係文献資料集』)

依田信蕃の子康国は父の戦功により松平姓を許され、小諸城主として佐久一郡を支配する。

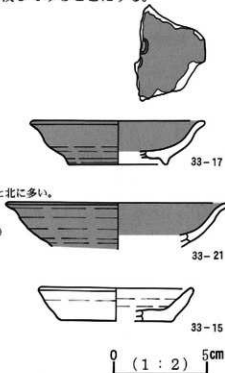
天正18年(1590)小田原城の落城に伴い、家康の領国を北条の旧領である関東に移した。家康の配下である依田康国の子康信は武蔵・上野国内に三万石を与えられ、群馬の藤岡城に移封された。平尾氏もこれに伴ったので、平尾の地を引き払ったのである。(1993『佐久市志』)白岩城の廃絶はこの時期に求められ、15世紀中頃から16世紀末の150年間、「平尾屋敷城」は存在したことになる。

ここで白岩城跡と同時期とみられる、黒岩城、北山寺遺跡と比較してみることにする。

### 白岩城跡Ⅲ 掘立柱建物址8棟、竪穴状遺構3棟、土坑45基、単独ピット426個

#### 主な出土遺物

- 青磁碗 1点(龍泉窯 中世)
- 白磁皿 1点(15C末～16C)
- 瀬戸灰小皿(軸丸皿・瘦皿) 11点(15C末～16C初頭・16C前半)  
遺構に伴わない。グリットからみると北側の東半城から出土。
- かわらけ 7点(16C前半) 他に破片は北検出とP238から20点、南検出2点と北に多い。
- 内耳鍋 9点 遺構内破片70点(北東隅・北の土坑群北検出に集中)(16C)
- 渡来銭 15枚 北宋銭と明銭があり、最も新しいのは永樂通寶(初铸年1408年)  
南・北の東半城から出土
- 角釘 15点 (P256(か4グリット)7点)
- 鉄鏝 2点(く4・き13グリット)
- 柄鉢 1点(D54、け13グリット)
- 朝尻 1点(う6グリット)
- 青銅製 渡金製品(D65付近、お10グリット)
- 磁石 7点 北検出に多い。
- 茶臼 4点 再利用されている。
- 粉挽臼 6点 再利用されている。



第30図 『白岩城跡Ⅰ』  
瀬戸灰軸端反皿とかかわらけ

五輪塔 2点

### 白岩城跡 I (1988年発掘調査) 本調査の東に接続する南北の堀

瀬戸灰軸小皿 (端反皿) 2点 (33-17・33-21) (大窯1 15C末~16C初頭)

かわらけ 1点 (33-15)

内耳鉢 4点 (33-29~32)

渡来銭 1点 永楽通寶 (初铸年1408)

鉄製刀子 1点

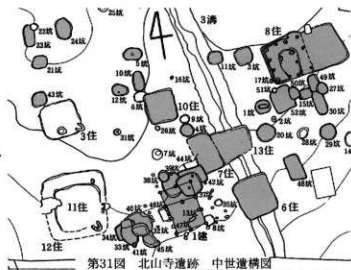
羽口・鉄滓

粉焼白 7点

石播鉢・石搗鉢 9点 (實徳印塔転用品あり)

五輪塔 2点

砥石



### 北山寺遺跡 (1988年発掘調査) 竪穴住居址6棟、 掘立柱建物址1棟、火葬墓1基、土坑50基、溝1

瀬戸灰軸小皿 (端反皿) 1点 瀬戸大窯 (16C前半)

かわらけ 2点

内耳 2点

太刀金具 足金物3点・貫金1点

刀子 2点

渡来銭 治平元寶 (1064)・洪武通寶 (1368)・宣徳通寶 (1433)

粉焼白 7点

茶白 1点

砥石 2点

### 黒岩城跡 (1984年発掘調査) 竪穴状遺構54基、土坑285基、掘立柱建物址3棟、溝2本

青磁碗 36点 (14~16C) 青磁皿 1点 (15C)、青白磁瓶子 1点 (13C)

白磁壺 5点 (14C 2点・15C 3点)、白磁皿11点 (15C 3点・16C 8点)

染付碗 1点 (15C)

天日茶椀 44点 (16C)

灰軸椀 23点 (16C前半20点・16C後半3点)、灰軸香炉1点 (16C)、銅皿1点 (15C)、灰軸藥瓶子1点 (15C)、

灰軸片口鉢1点 (14C前半)、灰軸折鉢鉢 3点 (15C)、灰軸小鉢 (15C後半)、灰軸小鉢 3点 (15C)、

灰軸三足盤 6点 (15C)

山茶椀 5点 (14C)

灰軸小皿 (端反皿・丸皿) 18点 (16C前半)

鉄軸椀皿 1点 (16C前半)、鉄軸茶壺 1点 (15C)、鉄軸茶入 1点 (16C) 鉄軸徳利 3点 (16C)

常滑甕 137点 (14C 6点、15C 4点、16C前半126点、16C後半1点)

常滑鉄軸鉢 2点 (16C)

中津川甕 15点 (14C)、中津川鉢 1点 (14C)

備前搗鉢 1点 (16C)

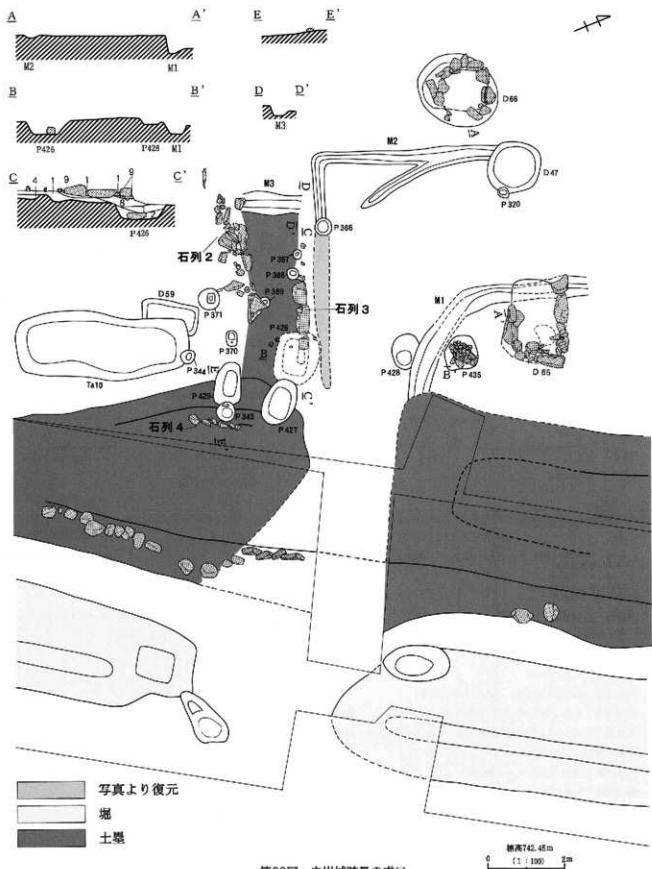
かわらけ 70点 (16C)・香炉2点

内耳 11点

粉焼白75点

茶白 36点





第32図 白岩城跡Ⅲの虎口

石摺鉢・揃き臼 35点

砥石 48点

硯 5点

渡来銭162枚 最も新しいもの 寛徳通寶 (1433)

小柄 6点

羽口・鉄滓

## 遺構

白岩城跡Ⅲの発掘調査による不十分ではあるが成果を述べる。掘立柱建物址が9棟あり、F1・F3・F8号掘立柱建物址は礎石を伴うこと。竪穴状遺構は、大型土坑に分類されたものを加えても数が少ない。黒岩城跡との比較では竪穴状遺構の少なさが明らかである。竪穴状遺構が工房などの性格をもっているとするれば白岩城跡の今回の調査区では工房的なものはないようである。掘立柱建物址を中心とする建物群が主体である。

土塁と堀については南端に南堀が検出され、堀の上幅3m弱、北側にテラス(武者走)があって土塁が東西に延びて盛られていたようである。土塁の高まりは削平されてないが堀側にわずかに土塁の痕跡が残り、堀に平行して幅3mほどの帯状に土塁があったとみられ、遺構が検出されていない。

同じく東端にも土塁の痕跡を示す堆積がわずかに残り、基底幅で5mほどの土塁が南北に築かれている。

南から東にかけて土塁が囲み、東側中央に虎口が設けられている。第32図で想定を含めた虎口の図を作成したが、白岩城跡Ⅰで検出された土橋地点で土塁の途切れ(幅2~4mほど?)があり、その先の細い排水溝から推測するに、幅50cmの溝が西方向に延びて北に曲がっている。北に曲がったこのM1・M2の細溝は平行しており幅3mほどの間には遺構がなく北東隅に至って遺構群がある。これが平尾屋敷城の虎口であろう。

## 遺物

黒岩城跡の出土遺物と比較してみると、陶磁器・かわらけ・内耳鍋・角釘・小柄・石臼・石摺鉢・砥石という構成は類似している。陶磁器類の多種と多量は黒岩城跡が圧倒しているが、瀬戸灰軸小皿・かわらけ・内耳の時代は黒岩城跡の16C代の遺物と類似している。そして、白岩城跡Ⅲ出土品のなかで、瀬戸灰軸小皿とかかわらけは高い比率をもっており、館としての性格が窺われる。ただ、白岩城跡では貯蔵を目的としたであろう常滑製の甕がⅠ・Ⅲの調査で、一片も出土しておらず、この遺跡の時代・性格の特徴を語るものか今後の資料を待ちたい。

今回の発掘調査で、

1. 南堀とテラス、土塁の痕跡。
2. 東側土塁の痕跡。
3. 虎口が直線ではなく、ほぼ直角に曲がる。
4. 掘立柱建物址が多い。
5. 竪穴状遺構が少なく工房的なものがない。
6. 北に陶磁器・かわらけが多く出土しており、北西の掘立柱建物址群に関連し、館の中心部であろうか。上面からの検出遺構が多いことから、整地面からすると建て替えられた新しい建物群といえる。南の掘立柱建物址は下面から出土し、古い建物群とみられる。
7. 館の築城時期が15世紀中頃、廃絶の時期が16世紀末とほぼ知れる状況のなかで、遺構・遺物ともに合致しており、このことから中世後期の土着武士、土豪の館の様子が推し量られる。
8. 17Cの瀬戸・美濃製品が残っていることから一部は廃絶後も営みが継続したのであろう。

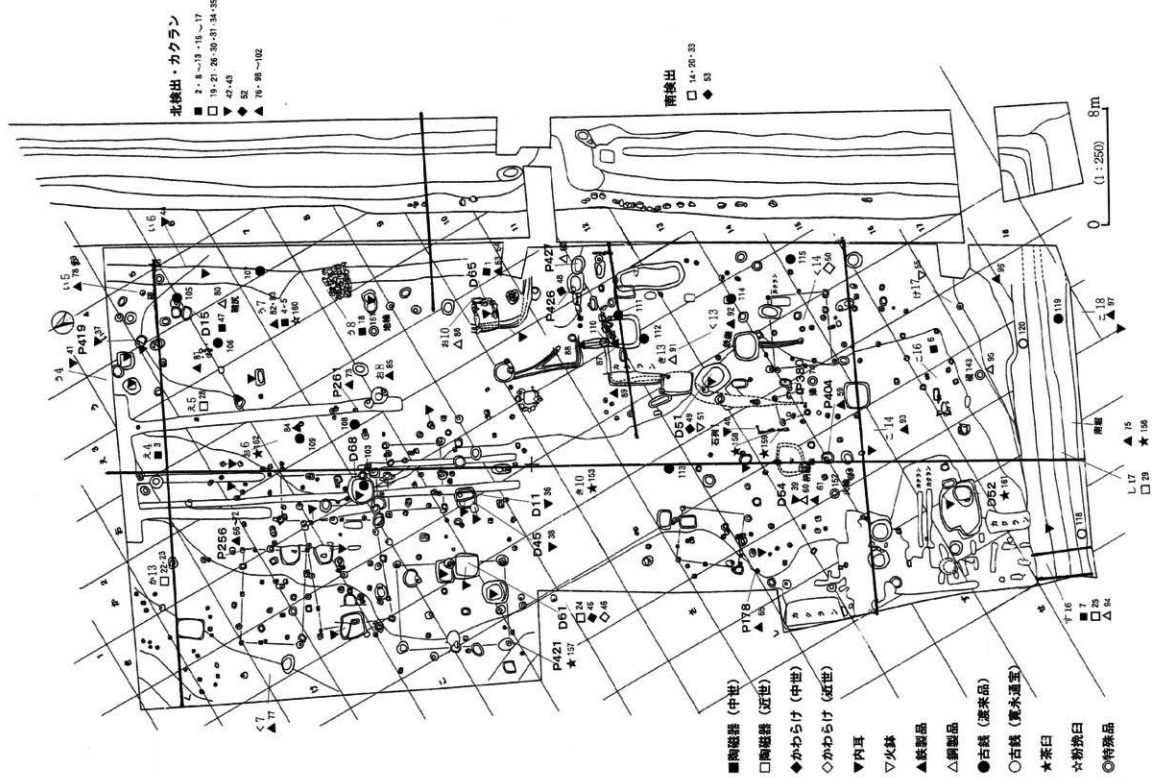
わからなかったこととして整地層が、上面と下面での新旧の遺構の帰属が明確でないことである。明確な時期差を捉えられるはずであるが捉えることができなかった。南側にあった建物が下面で北側

の礎石を持つ建物に移った可能性は指摘できる。

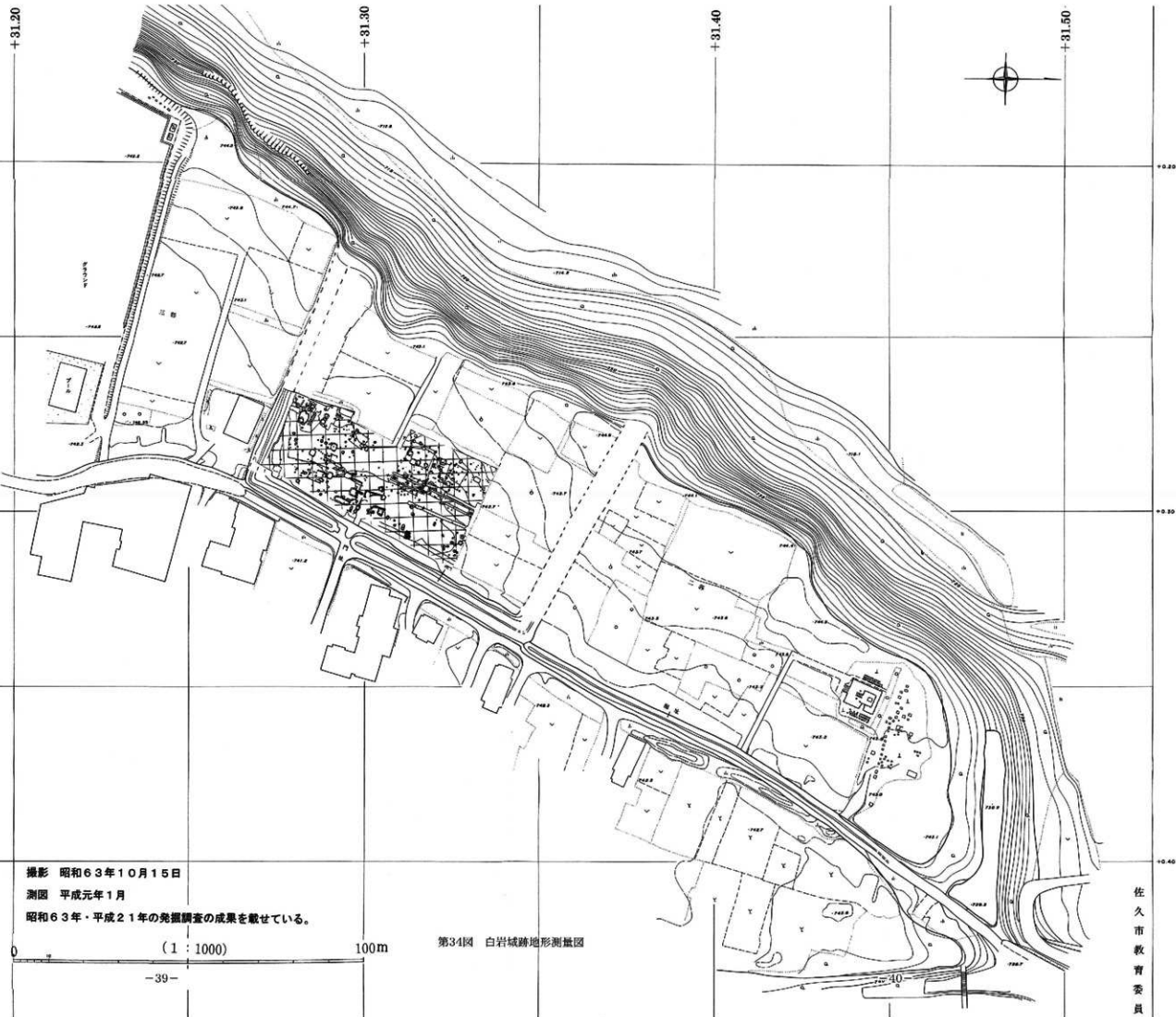
白岩城跡の主郭は東西54m（30間）×南北81m（45間）の長方形を呈する。その主郭の約1/4を調査したことにより、全容とまでいかないが文献や伝承との整合、また一部の様子が分かってきたようである。ただ、一部の調査で断定できないが、15C中頃の遺物が少ないことから、平尾氏が頭初からこの地に館を構えたかは疑問の残るところである。

#### 引用参考文献

- 1983 長野県教育委員会『長野県の中世城館跡』  
1986 佐久市教育委員会『大井城跡（黒岩城跡）』  
1991 長野県埋蔵文化財センター『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書2』  
—佐久市内その2—北山寺遺跡P352  
1987 胡桃沢龍吉『平尾守芳とその一党』  
1989 佐久市教育委員会『白岩城跡（里古城）』  
1991 佐久埋蔵文化財センター『金井城跡』  
瀬戸市歴史民俗資料館『瀬戸市歴史民俗資料館研究紀要X』  
1992 佐久市志編纂委員会『佐久市史』歴史編（三）近世 P21  
1993 佐久市志編纂委員会『佐久市史』歴史編（二）中世 P590  
2010 佐久市教育委員会『野馬窪遺跡Ⅱ・Ⅲ』



第33図 白岩城跡Ⅲ出土の主要な遺物の分布図



撮影 昭和63年10月15日

測図 平成元年1月

昭和63年・平成21年の発掘調査の成果を載せている。

(1 : 1000)

100m

第34図 白岩城跡地形測量図

第1表 白岩城跡Ⅲ遺構一覧表

遺構名	検出位置	時代	形態	規模 (cm・㎡)		主軸方位	カマド形	柱穴	備考
				南北長	東西長				
Ta1	し15	中世	不整形	246	3~25	N-20°-E	-	-	D52と重流、P409に切られる。
Ta2~5	欠								
Ta6	き11	中世	-	337	6~8	N-31°-E	-	-	カクランに切られる。
Ta7~9	欠								
Ta10	お12	中世	長方形	396	120	34	4.8	N-24°-E	D59、P344と新山不明。

竪穴状遺構

(例) (推定)

竪立柱建物址

遺構名	検出位置	様式	桁行×梁間 (間)	桁行×梁間 (m)	桁行柱間 (m)	梁間柱間 (m)	長軸方位	柱穴間隔		備考
								間隔 (cm)	深さ (cm)	
F1	か5	側柱	2×1	6.4×3.2	3.2	3.2	N-30°-E	25~78	7~86	
F2	か4	側柱	2×1	4.0×2.48	2.0	2.48	N-58°-W	20~40	11~66	
F3	<6	総柱	3×2	7.2×5.6	2.6・2.0	3.16・2.4	N-25°-E	33~88	24~78	
F4	け11	側柱	2×2	4.06×3.6	1.68	1.8	N-39°-E	23~50	10~57	
F5	け13	側柱	1×1	1.8×1.6	1.8	1.6	N-15°-E	26~40	8~68	
F6	き14	総柱	2×2	4.8×3.88	2.4	1.94	N-65°-W	22~34	20~80	
F7	か5	側柱	3×2+縁	7.4×4.8	2.0・1.4	2.4	N-69°-W	20~48	5~80	
F8	か7	側柱	2×1	4.4×3.6	2.2	3.64	N-65°-W	38~50	52~67	
F9	か9	側柱	1×1	1.96×1.6	1.96	1.6	N-60°-W	18~22	6~29	

(例) (推定)

溝址

遺構名	検出位置	全長 (m)		幅 (cm)	深さ (cm)	備考
		長さ	幅			
M1	お9~お11	(6.00)	48~56	8~39	D65に切られ、P428を切る。	
M2	か10~か11	(6.04)	28~52	4~10	D47、P366に切られる。	
M3	か11	(1.56)	44~64	24~26	D69を切る。	
M4	<14	(2.76)	24~38	18~21	P361に切られ、D63を切る。	
所面	け17~せ16	(12.55)	280~286	120~160		

(例) (推定)

## 上坑

(残) (推定)

遺構名	検出位置	平面形	長軸長(cm)	短軸長(cm)	深さ(cm)	長軸方位	備考
D1~D3	欠						
D4	L15	円形	96	90	48	N-15°-E	
D5~D8	欠						
D9	<13	隅丸長方形	98	56	43	N-28°-E	カクランに切られ、P400を切る。
D10	き15	円形	105	96	53	N-1°-W	
D11	き8	長方形	136	58	28	N-18°-E	カクランに切られ、D45、P297を切る。
D12	え5	楕円形	94	76	24	N-73°-W	内耳片2
D13	き5	-	(130)	116	14	N-68°-W	カクランに切られる。
D14	き5	-	129	(126)	16	N-23°-E	カクランに切られる。
D15	い5	楕円形	100	62	17	N-45°-W	内耳片16
D16	欠						
D17	<5	-	78	(72)	14	N-25°-E	カクランに切られる。
D18	<5	楕円形	(112)	64	9	N-53°-W	カクランに切られる。
D19・20	欠						
D21	<4	楕円形	128	88	25	N-34°-E	
D22~D25	欠						
D26	<6	楕円形	90	80	21	N-73°-W	P88・92・125に切られ、P243を切る。
D27・28	欠						
D29	こ7	方形	78	74	13	N-74°-W	
D30~D33	欠						
D34	け11	長方形	122	90	29	N-59°-W	
D35	こ11	長方形	113	80	18	N-26°-E	
D36	<6	円形	113	106	28	N-90°	P168に切られる。
D37	う4	円形	110	104	25	N-90°	
D38	欠						
D39	う4	方形	118	112	42	N-63°-W	P425に切られる。
D40	え6	長方形	103	56	12	N-66°-W	鉄滓328g
D41	お8	楕円形	98	84	9	N-23°-E	
D42	き3	長方形	182	128	28	N-37°-E	
D43	<5	長方形	170	150	20	N-71°-W	P401に切られる。

## 土坑

(残) (推定)

遺構名	検出位置	平面形	長軸長(cm)	短軸長(cm)	深さ(cm)	長軸方位	備 考
D44	え8	不整形	148	88	41	N - 74° - W	
D45	き8	長方形	136	122	10	N - 67° - W	D11, P297・319, カクランに切られる。
D46	お8	円形	112	106	35	N - 89° - W	P317に切られる。
D47	か10	円形	137	135	72	N - 29° - E	P320に切られ、M2を切る。
D48~D50	欠						
D51	く12	楕円形	248	180	76	N - 9° - W	P25に切られる。
D52	し15	長方形 +張り出し	144	130	51	N - 70° - W	Ta1と重複。
D53	さ14	円形	148	144	39	N - 0°	
D54	こ13	長方形	212	180	59	N - 65° - W	P13・406に切られる。
D55・56	欠						
D57	し13	円形	144	130	42	N - 17° - E	
D58	し14	円形	112	112	24	N - 27° - E	
D59	か12	長方形	142	88	80	N - 28° - E	Ta10と新旧不明。
D60	け7	長方形 +張り出し	170	148	81	N - 24° - E	
D61	く7	方形	174	162	69	N - 26° - E	P206に切られる。近世
D62	く7	長方形	154	104	44	N - 66° - W	P206に切られる。
D63	く13	長方形	192	164	50	N - 66° - W	M4に切られ、P325を切る。
D64	き14	長方形	144	94	25	N - 46° - E	
D65	お10	長方形	216	156	82	N - 66° - W	石組 M1を切る。鉄滓17g
D66	か10	楕円形	212	188	42	N - 28° - E	石組
D67	欠						
D68	か6	方形	178	178	31	N - 30° - E	P123, カクランに切られる。
D69	か11	長方形	244	220	36	N - 29° - E	M3に切られる。
D70	け14	方形	176	170	47	N - 29° - E	
D71	き12	長方形	212	(160)	25	N - 30° - E	P376・402に切られ、P377を切る。
D72	き10	長方形	81	67	30	N - 30° - E	石組
石組1	う8	長方形	232	212	-	N - 74° - W	石組
石列1	け13	-	208	59	-	N - 24° - E	
石列2	か11	-	430	115	-	N - 75° - W	
石列3	か11	-	195	35	-	N - 70° - W	
石列4	お12	-	140	28	-	N - 31° - E	



単独ピット

(残) (補定)

選手名	出士位置			平座形	覆土	備考	出士位置			平座形	覆土	備考			
	長さ	加幅	深さ				通称	担任	担任				深さ		
P 1	< 16	25	21	16	長方形	緑褐色土層(10YR3/3)		D47	< 3	26	20	3	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)	カクランに切られる。
P 2	< 10	34	27	15	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)		P48	< 3	24	22	35	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P 3	< 14	20	18	13	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)	D70を切る。	P49	か 7	50	47	33	円形	赤褐色土層(10YR2/3)	(F8)
P 4	14	24	24	20	方形	暗褐色土層(10YR3/4)		P60	か 4	37	31	32	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)	
P 5	14	29	24	20	長方形	に赤い黄褐色土層(10YR4/3)		P51	< 3	26	20	11	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	(F2)
P 6	14	23	21	15	方形	暗褐色土層(10YR3/3)		P62	< 4	21	21	11	方形	暗褐色土層(10YR3/4)	
P 7	< 11	22	20	56	円形	黒褐色土層(10YR3/2)		P53	お 1	32	28	17	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	
P 8	15	38	26	22	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P54	お 7	34	33	16	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P 9	< 16	27	24	6	長方形	褐色土層(10YR4/4)		P55	お 5	28	26	27	方形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P10	< 14	34	23	32	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)	内耳1	P66	< 3	42	40	18	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P11	< 13	34	24	18	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)		P57	か 1	27	26	34	方形	赤褐色土層(10YR2/3)	(F2)
P12	12	38	28	7	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)		P68	ス 4	32	32	18	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	カクランに切られる。
P13	< 13	40	26	14	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)	D54を切る。	P59	お 3	30	29	60	方形	黒褐色土層(10YR2/2)	内耳1
P14	< 16	34	24	8	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)		P60	お 5	46	33	33	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	カクランに切られる。
P15	< 16	73	38	9	長方形	褐色土層(10YR4/6)		P61	お 4	39	30	22	長方形	赤褐色土層(10YR2/3)	(F2)
P16	欠							P62	< 4	53	36	14	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P17	L13	27	27	8	方形	暗褐色土層(10YR3/4)	カクランに切られる。	P63	< 6	26	21	31	長方形	赤褐色土層(10YR2/3)	
P18	< 14	36	27	19	長方形	褐色土層(10YR4/4)		P64	お 5	32	30	68	円形	赤褐色土層(10YR2/3)	内耳1
P19	お 13	38	28	20	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)		P65	お 3	30	28	25	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P20	L13	30	23	9	長方形	—		P66	お 5	46	34	7	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	(F1)P90に切られる。
P21	< 12	24	24	32	方形	暗褐色土層(10YR3/3)		P67	お 6	61	53	80	楕円形	1.暗褐色土層(10YR3/4) 2.褐色土層(10YR2/3)	(F1)
P22	L14	37	30	14	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)		P68	お 5	46	40	28	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)	(F2)P252を切る。
P23	L14	39	26	19	長方形	—		P69	お 5	54	38	70	楕円形	暗褐色土層(10YR2/3)	
P24	< 14	46	26	16	楕円形	褐色土層(10YR4/4)		P70	お 5	20	18	36	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P25	< 12	40	32	33	楕円形	褐色土層(10YR4/4)	D51を切る。	P71	か 5	34	22	35	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P26	< 13	20	20	7	方形	褐色土層(10YR4/6)		P72	< 5	34	34	4	方形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P27	S13	32	31	23	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	カクランに切られる。	P73	お 6	26	25	26	円形	赤褐色土層(10YR2/3)	(F1)
P28	12	27	28	11	方形	暗褐色土層(10YR3/3)	P407を切る。	P74	お 6	20	17	29	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P29	S13	39	24	51	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)		P75	お 5	40	36	28	方形	黒褐色土層(10YR2/2)	(F2)P253-254を切る。
P30	S13	31	27	47	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P76	か 8	28	28	64	方形	赤褐色土層(10YR2/3)	
P31	お 2	18	17	47	方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P77	お 4	28	23	17	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	(F2)
P32	か 7	46	30	43	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)		P78	12	28	24	29	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P33	お 9	52	52	72	円形	暗褐色土層(10YR2/3)		P79	お 5	29	25	5	楕円形	赤褐色土層(10YR2/3)	
P34	< 8	26	24	9	方形	黒褐色土層(10YR2/2)		P80	お 5	34	31	38	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	(F7)
P35	< 2	22	22	46	方形	暗褐色土層(10YR3/3)		P81	L12	58	58	48	円形	1.褐色土層(10YR1/1) 2.黒褐色土層(10YR2/3)	
P36	お 7	33	26	9	長方形	—		P82	12	40	28	72	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P37	お 6	22	20	36	方形	暗褐色土層(10YR3/4)		P83	お 5	40	39	19	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P38	お 6	24	22	47	方形	暗褐色土層(10YR3/3)		P84	< 5	32	29	26	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P39	お 6	18	16	26	長方形	暗褐色土層(10YR2/2)		P85	お 5	58	35	14	楕円形	暗褐色土層(10YR2/3)	
P40	お 6	34	20	21	長方形	赤褐色土層(10YR2/2)	P41と新旧不明。	P86	< 5	39	38	35	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P41	お 6	29	25	53	円形	暗褐色土層(10YR3/4)	P40と新旧不明。	P87	< 6	43	42	64	円形	暗褐色土層(10YR3/4)	
P42	お 2	22	16	6	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)		P88	< 6	24	20	13	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)	D26, P92を切る。
P43	< 6	45	37	5	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)	(F7)	P89	S14	21	13	18	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)	
P44	か 4	30	25	24	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)		P90	か 5	44	32	26	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	P66を切る。
P45	お 2	27	22	17	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)		P91	お 6	19	19	26	方形	黒褐色土層(10YR2/2)	内耳1
P46	お 7	98	57	37	楕円形	赤褐色土層(10YR2/2)	カクランに切られる。	P92	< 6	30	28	63	—	黒褐色土層(10YR3/2)	P88に切られ、D26を切る。

単独ピット

(残) (推定)

遺構名	山形	柱位置	柱径	柱高	柱間	平面形	覆土	備考	遺構名	山形	柱位置	柱径	柱高	柱間	平面形	覆土	備考
P93	け16	25	22	25	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)			P139	お5	27	23	12	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)		カクランに切られる。
P94	け16	27	27	17	方形	暗褐色土層(10YR3/3)			P140	お4	30	28	14	方形	暗褐色土層(10YR3/3)		
P95	け15	27	26	22	方形	暗褐色土層(10YR3/3)			P141	お6	67	65	15	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)		内耳1
P96	こ16	25	23	13	方形	暗褐色土層(10YR3/3)			P142	お3	62	51	22	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)		
P97	こ16	18	16	13	一	暗褐色土層(10YR3/4)	P98に切られる。		P143	お6	27	23	9	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)		
P98	こ16	23	20	14	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)	P97を切る。		P144	お3	30	26	45	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)		
P99	け15	18	16	14	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)			P145	お2	30	24	11	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)		
P100	こ14	30	25	28	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)			P146	お3	21	19	38	方形	黒褐色土層(10YR2/3)		
P101	け13	22	20	19	方形	暗褐色土層(10YR3/3)			P147	お5	27	22	16	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)		カクランに切られる。
P102	け14	19	15	18	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)			P148	欠							
P103	お19	29	20	8	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)			P149	お2	22	18	17	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)		
P104	お13	20	16	一	方形	黒褐色土層(10YR2/3)			P150	お2	18	17	3	方形	暗褐色土層(10YR3/3)		
P105	け12	23	23	12	方形	暗褐色土層(10YR3/4)			P151	お2	18	14	27	長方形			
P106	お10	33	30	11	方形	暗褐色土層(10YR3/3)			P152	お3	22	22	9	方形	暗褐色土層(10YR3/4)		
P107	お10	30	18	8	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	(F9)		P153	お7	53	43	62	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	P416、カクランに切られる。	
P108	お9	24	19	6	長方形	黒褐色土層(10YR4/4)	(F9)		P154	お6	63	42	27	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)		
P109	お9	34	22	29	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)	(F9)		P155	お6	30	29	7	方形	暗褐色土層(10YR3/4)		
P110	お9	24	20	9	長方形	暗褐色土層(10YR2/3)	(F9)		P156	お6	30	28	20	方形	暗褐色土層(10YR3/3)		
P111	お9	30	28	8	方形	暗褐色土層(10YR3/3)			P157	お7	32	28	27	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)		
P112	お9	26	22	41	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)			P158	お7	34	26	27	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)		
P113	お9	25	24	5	方形	黒褐色土層(10YR2/2)			P159	お7	22	20	13	方形	暗褐色土層(10YR3/3)		
P114	欠								P160	お7	32	22	20	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)		
P115	お8	37	22	81	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)	P310を切る。鉄?		P161	お7	30	28	12	方形	黒褐色土層(10YR2/3)		
P116	お8	27	27	10	方形	暗褐色土層(10YR3/4)			P162	お6	67	48	42	楕円形	1.黒褐色土層(10YR2/3) 2.炭褐色土層(10YR3/3)	(F3)	
P117	お8	61	50	67	不整形	暗褐色土層(10YR3/3)	(F8)P437を切る。		P163	欠							
P118	お8	34	22	58	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)			P164	お8	42	38	47	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		
P119	お7	34	20	12	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)			P165	お8	34	31	25	円形	黒褐色土層(10YR3/3)		
P120	お8	34	30	58	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)			P166	お8	28	26	64	円形	暗褐色土層(10YR3/3)		
P121	お7	30	27	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)			P167	お7	41	35	54	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)			
P122	お7	38	32	10	長方形	1.黒褐色土層(10YR2/3) 2.炭褐色土層(10YR4/3)	カクランに切られる。		P168	お7	40	36	44	円形	暗褐色土層(10YR3/4)	D36を切る。	
P123	お7	52	51	24	円形	暗褐色土層(10YR3/4)	D68を切る。		P169	お7	17	14	33	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)		
P124	お7	38	34	73	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)	P283を切る。		P170	お7	30	30	52	円形	暗褐色土層(10YR3/3)		
P125	お6	39	36	46	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	D26を切る。		P171	お12	28	25	26	方形	黒褐色土層(10YR2/3)		
P126	お6	38	32	34	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	P272を切る。		P172	お12	52	51	16	円形	暗褐色土層(10YR3/4)		
P127	お6	38	35	67	方形	暗褐色土層(10YR3/4)			P173	お11	21	21	27	円形	暗褐色土層(10YR3/4)		
P128	お6	30	26	7	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)			P174	お11	25	23	58	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)		
P129	お4	24	18	17	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)			P175	お12	36	34	47	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	一辺28cmの方形柱礎あり。	
P130	お4	48	48	9	方形	暗褐色土層(10YR3/3)	(F1)		P176	お11	45	41	41	円形	暗褐色土層(10YR3/3)		
P131	お6	22	16	35	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)			P177	お11	30	30	50	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)	(F4)	
P132	お3	24	22	58	方形	黒褐色土層(10YR2/3)			P178	お12	24	23	47	方形	暗褐色土層(10YR3/4)		
P133	お3	34	28	73	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	(F7)		P179	お12	56	50	78	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)		
P134	お5	27	23	23	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)	(F2)		P180	お12	22	18	23	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	内耳1	
P135	お4	37	33	14	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)			P181	お12	60	58	15	円形	暗褐色土層(10YR3/4)		
P136	お4	41	40	67	円形	暗褐色土層(10YR3/4)	(F2)		P182	お10	33	29	13	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)		
P137	お5	36	30	38	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)			P183	お11	27	22	67	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)		
P138	お5	23	22	29	方形	暗褐色土層(10YR3/3)			P184	お11	33	28	41	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)		

単独ビット

(残) (推定)

建物の名称	地上段数	出上段数	延床	高さ	平面形	備 考	建物の名称	地上段数	出上段数	延床	高さ	平面形	備 考	
P185	こ11	24	23	25	方形	緑褐色土層(10YR3/3)	P230	え3	43	32	67	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P186	こ11	23	23	33	方形	暗褐色土層(10YR3/3)	(F4)	P231	う4	53	50	14	円形	暗褐色土層(10YR3/4)
P187	こ11	20	17	30	方形	暗褐色土層(10YR3/3)	P210を切る。	P232	う5	60	38	48	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)
P188	け11	34	32	48	円形	暗褐色土層(10YR3/4)	(F4)	P233	う5	103	63	25	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)
P189	き12	24	22	8	方形	暗褐色土層(10YR3/3)		P234	い5	75	53	27	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)
P190	き11	25	24	35	方形	暗褐色土層(10YR3/4)	(F4)P203を切る。	P235	い5	65	60	31	円形	暗褐色土層(10YR3/4)
P191	こ12	52	45	15	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)	(F4)	P236	い5	35	30	44	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)
P192	け10	20	19	46	方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P237	い5	70	44	12	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)
P193	き12	47	40	40	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P238	い4	55	60	16	円形	暗褐色土層(10YR2/4)
P194	こ11	22	22	43	方形	暗褐色土層(10YR3/4)		P239	い5	50	38	53	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P195	き11	62	32	43	楕円形	黒褐色土層(10YR4/4)		P240	欠					
P196	こ12	30	27	39	円形	黒褐色土層(10YR4/4)	(F4)	P241	け6	40	35	80	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P197	こ12	46	41	57	楕円形	暗褐色土層(10YR2/3)	(F4)	P242	け6	50	40	64	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)
P198	こ12	24	23	41	方形	暗褐色土層(10YR3/3)		P243	く6	44	40	50	円形	暗褐色土層(10YR3/3)
P199	き11	24	19	36	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)		P244	え8	50	48	30	方形	暗褐色土層(10YR3/3)
P200	こ12	24	20	51	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P245	お9	100	83	30	楕円形	黒褐色土層(10YR4/6)
P201	け10	32	22	58	方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P246	え9	60	42	66	楕円形	1.黒褐色土層(10YR2/2) 2.黒褐色土層(10YR4/6) 3.暗褐色土層(10YR3/4)
P202	き11	20	18	10	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P247	え9	80	63	24	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)
P203	け11	52	50	10	一	褐色土層(10YR4/4)	(F4)P190に切られる。	P248	く4	20	18	14	円形	暗褐色土層(10YR3/3)
P204	こ8	44	34	56	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)		P249	く4	25	25	14	方形	暗褐色土層(10YR3/3)
P205	け8	66	66	72	円形	1.暗褐色土層(10YR3/3) 2.黒褐色土層(10YR4/4) 3.暗褐色土層(10YR3/4)	(F3)	P250	く4	30	20	11	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)
P206	く7	68	59	58	楕円形	1.暗褐色土層(10YR3/3) 2.黒褐色土層(10YR4/4)	(F3)D61・62を切る。	P251	お5	30	15	24	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)
P207	け7	55	42	59	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	(F3)	P252	き5	28	20	20	円形	暗褐色土層(10YR3/3)
P208	け7	66	49	60	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	(F3)	P253	き5	23	23	33	円形	暗褐色土層(10YR3/3)
P209	け8	33	24	38	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P254	き5	18	18	32	円形	暗褐色土層(10YR3/3)
P210	こ11	33	30	58	方形	暗褐色土層(10YR3/4)	P187に切られる。	P255	お5	30	62	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P211	こ12	39	30	51	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)		P256	お4	19	18	37	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P212	こ11	25	26	41	円形	暗褐色土層(10YR3/3)		P257	欠					
P213	お3	40	38	30	円形	暗褐色土層(10YR3/3)		P258	お6	33	30	25	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P214	お2	33	20	30	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P259	お7	25	23	32	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P215	お3	20	18	15	方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P260	お7	40	33	25	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)
P216	お2	25	21	5	長方形	暗褐色土層(10YR2/3)	F399に切られる。	P261	お7	28	25	55	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P217	お3	20	20	29	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P262	お7	35	18	21	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P218	お3	20	20	7	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P263	お7	48	40	26	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)
P219	お3	20	15	4	方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P264	お5	43	40	62	円形	暗褐色土層(10YR3/3)
P220	お3	20	18	48	方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P265	お5	33	39	60	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P221	お3	23	18	17	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P266	お5	45	38	66	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)
P222	お3	35	30	39	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P267	お5	18	15	23	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P223	お4	35	30	52	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	(F2)	P268	お5	30	40	長方形	暗褐色土層(10YR2/3)	
P224	く6	38	38	17	楕円形	暗褐色土層(10YR2/3)		P269	く5	25	23	12	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P225	く6	40	38	72	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	(F2)	P270	お6	28	20	19	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P226	お6	43	33	66	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)	(F3-7)	P271	お6	15	13	29	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)
P227	お6	30	23	19	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P272	く6	27	25	13	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P228	お4	40	38	112	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P273	く6	25	23	16	円形	黒褐色土層(10YR2/3)
P229	お4	85	85	37	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P274	く6	52	36	38	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)

単独ビット

(残) (推定)

連続ビット	州土位置	形状	長さ	幅	厚さ	平面形	蓋土	備考	連続ビット	州土位置	形状	長さ	幅	厚さ	平面形	蓋土	備考
P275	く	6	49	48	58	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	(F3)	P321	か	13	30	20	66	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P276	く	6	35	33	13	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P322	き	14	33	24	16	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P277	き	6	48	40	42	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P323	ひ	14	24	22	36	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	(F6)
P278	き	6	45	35	30	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	(F7)	P324	き	13	68	66	36	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P279	き	6	26	25	13	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P325	く	14	60	50	16	-	暗褐色土層(10YR3/3)	D63に切られる。
P280	次								P326	き	14	34	24	56	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)	(F6)
P281	き	7	28	23	9	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P327	く	11	50	48	12	方形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P282	き	7	40	38	60	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	(F8)	P328	く	14	34	30	68	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	(F6)
P283	き	7	38	35	36	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	P124に切られる。	P329	く	14	30	28	59	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P284	く	7	61	50	43	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P330	く	15	24	22	14	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P285	き	7	30	30	33	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P331	く	15	26	22	20	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	(F6)
P286	次								P332	く	15	33	30	28	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P287	き	8	44	40	38	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	(F9)	P333	く	15	42	40	64	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P288	く	8	28	25	23	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P334	く	15	20	18	24	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P289	く	8	50	38	2	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P335	く	15	45	25	59	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P290	次								P336	く	16	40	29	38	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P291	く	8	35	33	23	円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P337	く	16	58	46	28	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P292	く	9	35	25	33	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P338	く	16	38	36	47	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P293	く	8	50	45	61	方形	1層褐色土層(10YR3/3) 2層褐色土層(10YR3/4)		P339	く	16	33	33	43	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P294	き	9	130	66	38	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)	P441に切られる。	P340	く	16	18	18	20	方形	暗褐色土層(10YR3/4)	
P295	き	9	25	15	41	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P341	く	16	33	30	69	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P296	か	9	35	28	59	長方形	褐色土層(10YR4/4)		P342	ひ	17	40	35	119	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P297	き	23	20	20	43	方形	黒褐色土層(10YR3/4)	D11に切られる、D15を切る。	P343	ひ	17	50	50	84	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	F429を切る。
P298	き	40	25	40	40	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)		P344	か	12	38	35	56	円形	灰土質褐色土層(10YR4/3)	Ta10と断面不明。
P299	き	8	28	25	48	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)		P345	か	13	30	30	55	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P300	き	8	30	18	21	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	F301を切る。	P346	か	13	28	43	49	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P301	き	8	18	10	33	-	黒褐色土層(10YR2/3)	F300に切られる。	P347	か	14	50	35	59	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P302	き	8	30	25	44	楕円形	暗褐色土層(10YR2/3)		P348	か	14	30	30	38	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P303	き	8	25	23	46	方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P349	か	14	75	63	38	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)	
P304	き	8	65	58	21	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)		P350	か	15	68	56	52	楕円形	-	
P305	き	8	90	70	13	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)		P351	か	15	35	33	105	円形	暗褐色土層(10YR2/3)	
P306	き	8	28	25	40	方形	暗褐色土層(10YR3/3)		P352	く	15	46	40	74	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)	(F6)
P307	き	8	65	45	6	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)		P353	か	15	30	25	53	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)	
P308	か	8	38	38	45	円形	暗褐色土層(10YR3/3)		P354	か	15	40	39	39	長方形	暗褐色土層(10YR3/4)	
P309	か	8	63	48	36	楕円形	黒褐色土層(10YR3/2)	(F8)	P355	ひ	15	30	25	79	楕円形	暗褐色土層(10YR2/3)	
P310	か	8	45	43	68	円形	1層褐色土層(10YR3/3) 2層褐色土層(10YR4/0)	P115に切られる、内層1	P356	ひ	14	32	28	61	楕円形	暗褐色土層(10YR2/3)	(F6)
P311	か	8	43	38	39	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)		P357	く	15	38	30	45	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)	
P312	か	8	30	28	32	方形	暗褐色土層(10YR2/3)		P358	く	15	35	32	52	方形	暗褐色土層(10YR2/3)	
P313	か	8	40	25	19	長方形	暗褐色土層(10YR2/3)		P359	く	14	32	26	30	楕円形	暗褐色土層(10YR2/3)	(F6)
P314	か	7	46	35	33	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	P315に切られる。	P360	く	14	38	31	92	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P315	か	7	28	19	28	-	暗褐色土層(10YR3/3)	P314を切る。	P361	く	14	33	33	89	方形	-	M4を切る。
P316	か	7	45	45	52	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	(F9)	P362	ひ	14	48	36	8	楕円形	褐色土層(10YR4/1)	
P317	か	8	48	38	39	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D16を切る。	P363	ひ	14	45	26	-	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P318	い	5	83	73	32	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)		P364	ひ	14	18	18	19	方形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P319	く	8	18	15	22	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	D45を切る。	P365	次							
P320	か	10	30	23	11	楕円形	-	D47を切る。	P366	か	11	48	45	28	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	M2を切る。

単独ビット

(残) (補定)

連続ビット	出上位数	平面形	備考	連続ビット	出上位数	平面形	備考
長径	短径	深さ		長径	短径	深さ	
P367	φ11	23	23	31	円形	—	
P368	φ11	30	30	74	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P369	φ11	30	28	78	円形	—	
P370	φ12	38	28	55	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P371	φ12	55	55	58	円形	暗褐色土層(10YR3/4)	
P372	φ11	25	25	24	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P373	φ11	28	24	54	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P374	欠						
P375	φ11	30	30	3	楕円形	黒褐色土層(10YR2/2)	
P376	φ12	20	18	4	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	D71を切る。
P377	φ12	160	63	17	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	D71に切られる。
P378	φ13	34	25	53	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P379	φ14	38	34	69	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)	(F6)
P380	φ14	85	53	30	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)	鉄#56
P381	φ13	36	10	15	方形	暗褐色土層(10YR3/3)	(F5)
P382	φ13	40	38	43	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P383	φ12	60	60	66	楕円形	暗褐色土層(10YR2/3)	
P384	φ13	33	22	32	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P385	φ13	64	42	66	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P386	φ14	35	33	68	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P387	φ13	25	23	70	方形	褐色土層(10YR4/4)	
P388	φ13	20	15	25	楕円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P389	φ14	25	25	22	方形	暗褐色土層(10YR2/3)	
P390	φ13	30	24	25	長方形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P391	φ14	40	30	50	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P392	φ12	30	30	37	円形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P393	φ6	24	14	9	長方形	黒褐色土層(10YR2/3)	
P394	φ6	20	18	6	方形	暗褐色土層(10YR3/3)	
P395	φ6	28	27	40	方形	黒褐色土層(10YR2/3)	カクランに切られる。
P396	φ14	34	32	68	円形	—	(F6)
P397	φ14	65	63	33	円形	—	
P398	欠						
P399	φ2	25	22	14	長方形	—	P216を切る。
P400	φ13	43	38	36	楕円形	—	D9に切られる。
P401	φ5	54	30	58	長方形	—	(F7)D43を切る。
P402	φ12	32	26	36	楕円形	—	D71を切る。
P403	φ11	88	48	23	楕円形	—	
P404	φ13	80	76	45	円形	1.暗褐色土層(10YR3/4) 2.暗褐色土層(10YR3/3) 3.暗褐色土層(10YR3/3)	
P405	φ14	84	68	43	楕円形	—	縦文1 上層1
P406	φ13	70	64	34	円形	1.褐色土層(10YR4/4) 2.暗褐色土層(10YR3/3)	D54を切る。
P407	φ12	80	60	23	楕円形	褐色土層(10YR4/4)	P28に切られる。 内耳1
P408	φ12	80	74	26	円形	1.褐色土層(10YR4/4) 2.暗褐色土層(10YR3/4)	
P409	φ16	98	64	26	楕円形	暗褐色土層(10YR2/3)	内耳1
P410	φ16	52	43	22	長方形	暗褐色土層(10YR2/3)	
P411	欠						
P412	欠						
P413	φ5	76	60	18	楕円形	灰褐色土層(10YR4/2)	
P414	φ3	66	66	16	不整形	暗褐色土層(10YR4/4)	
P415	φ6	80	72	27	円形	1.褐色土層(10YR4/6) 2.暗褐色土層(10YR2/3)	
P416	φ7	72	50	11	—	暗褐色土層(10YR3/3)	(F1)カクランに切られ、 P153を切る。
P417	φ7	60	48	34	楕円形	1.褐色土層(10YR4/4) 2.暗褐色土層(10YR2/3) 3.暗褐色土層(10YR2/3)	(F7)P418-434を切る。
P418	φ7	88	86	20	円形	1.褐色土層(10YR4/4) 2.暗褐色土層(10YR2/3) 3.暗褐色土層(10YR2/3)	P417に切られる。
P419	φ5	90	66	74	楕円形	1.暗褐色土層(10YR2/3) 2.暗褐色土層(10YR2/3) 3.暗褐色土層(10YR2/3) 4.褐色土層(10YR4/4)	内耳9
P420	φ7	94	68	24	楕円形	褐色土層(10YR4/4)	(F3)
P421	φ7	94	80	78	楕円形	褐色土層(10YR4/4)	(F3)
P422	φ6	76	66	57	楕円形	1.暗褐色土層(10YR2/3) 2.暗褐色土層(10YR2/2) 3.暗褐色土層(10YR2/3) 4.暗褐色土層(10YR3/4)	(F3)
P423	φ7	140	88	69	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	(F3)カクランに切られる。
P424	φ10	74	60	42	楕円形	1.暗褐色土層(10YR2/2) 2.暗褐色土層(10YR2/2)	P427を切る。
P425	φ4	84	78	14	円形	暗褐色土層(10YR2/3)	D39を切る。
P426	φ11	140	112	54	楕円形	1.暗褐色土層(10YR3/4) 2.暗褐色土層(10YR2/2)	P427を切る。
P427	φ12	114	84	42	楕円形	暗褐色土層(10YR3/4)	P426に切られる。
P428	φ11	92	86	19	—	1.暗褐色土層(10YR2/2) 2.褐色土層(10YR4/4)	M1に切られる。
P429	φ12	100	76	47	楕円形	暗褐色土層(10YR3/3)	P343に切られる。
P430	φ13	80	80	12	円形	暗褐色土層(10YR3/3)	カクランに切られる。
P431	欠						
P432	φ16	94	64	—	長方形	—	
P433	φ15	125	68	57	楕円形	—	
P434	φ6	104	78	24	楕円形	1.暗褐色土層(10YR3/3) 2.暗褐色土層(10YR2/2)	(F1)P417に切られる。
P435	φ10	88	88	—	円形	—	
P436	φ13	48	34	68	楕円形	—	(F5)
P437	φ8	50	40	55	楕円形	—	P117に切られる。
P438	φ5	58	20	—	—	—	P239に切られる。
P439	φ4	28	25	55	楕円形	—	
P440	φ13	35	33	29	方形	—	
P441	φ9	25	25	30	円形	—	P294を切る。

第2表 白岩城跡出土遺物一覧表

遺物番号	種名	器種	法	量 (cc)	内	文	号	出土位置
1	野磁	甕	口徑(底)底徑(高)	5.0	ロクロナデ一筋輪	白	文字不明 底部2/3 底径2.5	D 6.5
2	白磁	皿	-	-	ロクロナデ一筋輪	外	製作番号 口縁部片 中四	北城山
3	陶器	灰輪丸皿 野小皿	(8.0)	(1.4)	ロクロナデ一筋輪	内	口縁部片 大径1/6	A 4
4	陶器	灰輪丸皿	-	-	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2/7	5 7
5	陶器	灰輪丸皿	(11.8)	(2.2)	ロクロナデ一筋輪	内	口縁部片 大径2/7	5 7
6	陶器	灰輪丸皿	(10.5)	(2.2)	ロクロナデ一筋輪	内	口縁部片 大径1/8 大径1	2 1.6
7	陶器	灰輪丸皿	-	-	灰輪	内	口縁部片 大径2/7 大径2	す 1.6
8	陶器	灰輪丸皿	-	-	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
9	陶器	灰輪丸皿	(7.0)	(1.1)	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
10	陶器	灰輪丸皿	-	-	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
11	陶器	灰輪丸皿	(6.6)	(1.1)	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
12	陶器	灰輪丸皿	-	-	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
13	陶器	灰輪丸皿	-	-	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
14	陶器	灰輪丸皿	-	-	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
15	陶器	天目茶碗	(13.2)	(4.7)	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
16	陶器	天目茶碗	-	-	下腹スズリ・上唇灰輪	内	口縁部片 大径2	北城山
17	陶器	水目茶碗	-	-	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
18	土師器	甕鉢	-	-	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
19	陶器	灰輪輪赤皿	(11.0)	(2.0)	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
20	陶器	灰輪輪赤皿	-	-	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
21	陶器	灰輪輪赤皿	(6.2)	(1.8)	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
22	陶器	灰輪輪赤皿	(6.0)	(1.8)	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
23	陶器	灰輪二お鉢	(19.6)	(3.9)	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
24	陶器	灰輪二お鉢	(26.2)	(2.7)	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
25	陶器	灰輪二お鉢	(11.0)	(2.7)	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
26	陶器	灰輪二お鉢	(16.8)	(2.7)	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
27	陶器	灰輪輪赤皿	-	-	ロクロナデ一筋輪(灰輪)	内	口縁部片 大径2	北城山
28	陶器	灰輪輪赤皿	-	-	灰輪	内	口縁部片 大径2	北城山
29	陶器	灰輪輪赤皿	-	-	灰輪	内	口縁部片 大径2	北城山
30	陶器	灰輪輪赤皿	-	-	灰輪	内	口縁部片 大径2	北城山
31	陶器	灰輪二お鉢	-	-	灰輪	内	口縁部片 大径2	北城山



通巻番号	種別	用途	形状(長)×幅(高)×厚(重)	寸法 (mm)	内面	外面	備考	出立位置	
57	1	土留工	4.6	5.3	0.6		内月の二次利用 中世	き9	
58	2	土留工	2.7	2.5	0.8		内月の二次利用 中世	北カクラン	
59	1	鉄製品	角釘	0.6	0.5	(0.86)	上下覆欠損	P-404	
60	2	銅製品	銅線	4.0	2.5	1.3	欠損と変形あり	D54	
61	3	鉄製品	角輪	(17.8)	0.6	(10.90)	上下覆欠損	D64	
62	4	銅製品	?	1.6	0.7	0.05	同側欠損	P-427	
63	5	鉄製品	角釘	(5.1)	0.5	(1.85)	下部欠損	D65	
64	6	鉄製品	角釘	(3.2)	0.5	(1.09)	上下覆欠損	D66	
65	7	鉄製品	毛皮き	8.5	1.4	0.9	(9.36)	片側欠損	P-178
66	8-1	鉄製品	角釘	(4.2)	0.6	0.9	(3.41)	上下覆欠損	P-256
67	8-2	鉄製品	角釘	(4.3)	0.7	0.9	(3.36)	下部欠損	P-256
68	8-3	鉄製品	角釘	(5.2)	0.9	0.5	(2.83)	欠損部あり	P-256
69	8-4	鉄製品	角釘十?	(3.5)	1.2	0.8	(3.12)	下部欠損、不備遺物付着	P-256
70	8-5	鉄製品	角釘	(6.2)	0.5	0.5	(2.91)	上下覆欠損	P-256
71	8-6	鉄製品	角釘	(3.7)	1.5	0.5	(2.31)	上下覆欠損	P-256
72	8-7	鉄製品	角釘	(1.9)	0.9	0.4	(0.55)	上下覆欠損	P-256
73	9	鉄製品	角釘	(5.5)	0.9	0.5	(2.52)	欠損部あり	P-261
74	10	鉄製品	?	(4.1)	(4.9)	0.7	(2.46)		P-380
75	11	鉄製品	角釘	(3.8)	1.0	0.4	(1.75)	下部欠損	調査9号
76	12	鉄製品	角輪	(7.2)	0.5	0.5	(4.75)	上下覆欠損	北給出
77	13	鉄製品	鍍	(13.1)	1.3	1.0	(24.80)	継ぎ部・歪曲欠損	< 4
78	14	鉄製品	刀子	(5.8)	1.1	0.8	(4.89)	同側欠損	い5
79	15	鉄製品	角釘	4.2	(0.7)	(1.84)	一部欠損	い5	
80	16	銅製品	銅釘小横頭	3.5	1.9	1.7	6.42	内面に突起あり	う6 No.5
81	17	鉄製品	鍍金具	9.4	2.5	0.6	16.21		う5 No.7
82	18-1	鉄製品	鍍金具	3.5	1.6	0.8	(3.38)	右部分欠損	う7
83	18-2	鉄製品	?	(2.2)	1.6	0.1	(1.34)	同側欠損	う7
84	19	鉄製品	?	(2.8)	1.4	0.7	(2.00)	破損か?	お8 No.10
85	20	銅製品	刀子	(4.0)	1.4	0.4	(3.78)	同側欠損	お8
86	21	銅製品	鍍り金具?	(3.7)	(4.1)	0.2	(1.13)	鍍り欠損あり 同側欠損	D65-お10両面
87	22	鉄製品	?	(5.9)	(0.4)	(0.7)	(2.04)	鍍金の縁部分	お11 No.2



(単位) (横)

通商番号	品名	品類	品目	寸法		重量 (g)	備考	出上位置
				最大長	最大幅			
88	24 糸製品	管	(2.9)	0.7	(1.77)	両側欠損	か11 No.13	
89	24 糸製品	角釘	(3.5)	0.9	(1.84)	下部欠損	き11 No.11	
90	25 糸	〇	2.1	1.5	0.7	鉄ではない	く12	
91	20 糸製品	〇	1.9	0.8	0.8	四角 径0.8	き13	
92	27 糸製品	織	(7.5)	2.8	0.45	全部欠損	く13	
93	28 糸製品	外輪	(12.1)	2.8	0.7	上下部欠損	こ14	
94	29 糸製品	滑管	7.3	1.0	1.2	上下部欠損	す16	
95	30 糸製品	蓄金具	2.4	2.4	0.35	1.70	こ17 No.15	
96	31 糸製品	外輪	(7.3)	0.7	0.5	(9.71)	け18 No.20	
97	32 糸製品	角釘	(7.6)	0.4	0.4	(0.045)	こ18	
98	33 糸製品	角釘	(7.0)	0.6	0.5	(4.77)	北條州	
99	34 糸製品	角釘	(3.0)	0.5	0.3	(0.97)	北條州	
100	35 糸製品	角釘	(4.3)	0.8	0.6	(2.71)	北條州	
101	36 糸製品	角釘	(4.5)	1.6	0.4	(6.22)	北カクラン	
102	37 糸製品	角釘	4.1	0.8	0.4	1.64	北條山	
寸法								
通商番号	品名	品類	品目	寸法	重量 (g)	備考	出上位置	
103	1 青銅製品	占候	2.4	2.4	3.24	金運元玉(初繰年995)	D 6 8	
104	2 青銅製品	占候	2.4	2.4	2.76	天運元玉(初繰年1023)	い5 No.4	
105	3 青銅製品	占候	2.3	2.3	2.29	新運元玉(初繰年1068)	い5 No.1	
106	4 青銅製品	占候	2.4	2.3	1.93	新運元玉(初繰年1094)	う6 No.8	
107	5 青銅製品	占候	2.4	2.4	3.27	元祐通玉(初繰年1086)	い7 No.6	
108	6 青銅製品	占候	-	-	0.58	〇通管	お7 No.9	
109	7 青銅製品	占候	-	-	0.65	開〇通玉(初繰年845)	お6 No.11	
110	8 青銅製品	占候	2.3	2.3	2.38	寛永通管	お11 No.1	
111	9 青銅製品	占候	2.4	2.4	3.17	永享通管(初繰年1408)	か12 No.3	
112	10 青銅製品	占候	2.0	2.0	2.81	比叡通玉(初繰年1365)	き12 No.1	
113	11 青銅製品	占候	2.1	2.1	2.94	〇〇〇	け11 No.19	
114	12 青銅製品	占候	-	-	2.60	比叡通玉(初繰年1368)	き13 No.2	
115	13 青銅製品	占候	2.3	2.3	3.11	新運元玉(初繰年1094)	き15 No.3	
116	14 青銅製品	占候	-	-	-	〇〇〇	し15	
117	15 青銅製品	占候	-	-	0.85	元〇玉	き15	

番号	機製	用途	長さ	幅	厚	重	出	備	考	出土位置
118	16	古銭	1.12	0.80	0.12	0.12	0.12	○未通		山土位四
118	16	古銭	1.12	0.80	0.12	0.12	0.12	○未通		山土位四
119	17	古銭	1.06	0.80	0.12	0.12	0.12	○未通		山土位四
120	18	古銭	2.4	2.2	0.4	0.4	0.4	○未通		山土位四
121	19	古銭	2.2	2.2	0.4	0.4	0.4	○未通		山土位四
122	20	古銭	2.4	2.2	0.4	0.4	0.4	○未通		山土位四
123	21	古銭	1.79	1.58	0.12	0.12	0.12	○未通		山土位四
124	1	石器	9.1	6.3	2.3	2.3	2.3	○未通		山土位四
124	1	石器	9.1	6.3	2.3	2.3	2.3	○未通		山土位四
125	2	石器	12.4	6.1	3.7	3.7	3.7	○未通		山土位四
126	3	石器	12.1	6.0	4.1	4.1	4.1	○未通		山土位四
127	4	石器	14.2	3.9	2.4	2.4	2.4	○未通		山土位四
128	5	石器	12.1	4.5	2.3	2.3	2.3	○未通		山土位四
129	6	石器	11.3	4.3	3.1	3.1	3.1	○未通		山土位四
130	7	石器	8.7	3.8	2.3	2.3	2.3	○未通		山土位四
131	8	石器	9.5	5.5	4.5	4.5	4.5	○未通		山土位四
132	9	石器	5.8	5.5	4.5	4.5	4.5	○未通		山土位四
133	10	石器	9.5	7.0	3.2	3.2	3.2	○未通		山土位四
134	11	石器	5.9	6.7	2.2	2.2	2.2	○未通		山土位四
135	12	石器	9.9	5.2	2.5	2.5	2.5	○未通		山土位四
136	13	石器	3.0	4.6	2.3	2.3	2.3	○未通		山土位四
137	14	石器	3.4	3.3	2.0	2.0	2.0	○未通		山土位四
138	15	石器	6.3	3.1	1.7	1.7	1.7	○未通		山土位四
139	16	石器	17.2	7.0	4.6	4.6	4.6	○未通		山土位四
140	17	石器	5.9	2.5	1.6	1.6	1.6	○未通		山土位四
141	18	石器	7.4	4.5	3.5	3.5	3.5	○未通		山土位四
142	19	石器	9.0	5.3	1.7	1.7	1.7	○未通		山土位四
143	20	石器	7.0	5.1	1.2	1.2	1.2	○未通		山土位四
144	21	石器	5.4	4.7	0.7	0.7	0.7	○未通		山土位四
145	22	石器	13.0	9.3	1.5	1.5	1.5	○未通		山土位四
146	23	石器	6.1	7.7	1.2	1.2	1.2	○未通		山土位四
147	24	石器	11.1	5.8	3.1	3.1	3.1	○未通		山土位四

遺跡番号	遺跡名	器種	法		量 (cm)		出土位置
			最大長	最大幅	最大長	最大幅	
148 25	石磨	磨物G	19.0	5.3	500.33	焼熱あり(正面のみ黒化)産部破壊 使用のためか? 安山岩	P.11
149 29	石磨	磨石	(17.7)	(11.9)	(4.0)	焼熱あり(上下両面) 一飛塵化(右側欠損) 同様に焼らかな産 安山岩	う8
150 27	石磨	磨石	(22.0)	(4.5)	(2.480)	焼熱なし 左側欠損 正裏とも産部面か?(正面に浅い取付痕と糸痕あり スリの際面な部分あり) 安山岩	カクラン
151 28	石磨	五輪磨 (G)	16.7	23.5	10.480	焼熱なし 産部面欠損 黒色多角質安山岩	う8
152 20	石磨	(G)	15.0	21.3	(2.460)	焼熱なし 両面~産部欠損 門サイズ5.0×5.0 同産4.6 黒色多角質安山岩	D54 No.1
153 30	石磨	茶臼(下臼)	(14.6)	(6.1)	(3.9642)	焼熱なし 安山岩	き10
154 31	石磨	茶臼(上臼)	(10.5)	(9.2)	(10.8)	焼熱なし 芯部孔(2.8) 焼き木孔2.0×2.0 深さ3.5 安山岩	カクラン
155 32	石磨	茶臼(中臼)	(16.9)	(11.8)	(21.60)	焼熱なし 芯部孔(2.1) 産部(17.3) ふくみ堀(1.0) 安山岩	カクラン
156 33	石磨	茶臼	(23.9)	(18.8)	(10.7)	焼熱なし 産部欠損(34.6) 安山岩	備置
157 34	石磨	茶臼(下臼)	(19.2)	(18.2)	(7.1)	焼熱なし 産部孔(3.0) 供給口縦径2.0×長軸不明 安山岩	P.21(F.3)
158 35	石磨	茶臼(上臼)	(19.7)	(12.7)	(2.730)	焼熱なし 両面(32.8) 安山岩	1号石例 No.1
159 36	石磨	茶臼(中臼)	(18.7)	(15.2)	(12.0)	焼熱なし 安山岩	1号石例 No.2
160 37	石磨	茶臼(下臼)	(20.3)	(17.2)	(10.3)	焼熱なし 両面(32.8) 安山岩	う7
161 38	石磨	茶臼(上臼)	(22.4)	(15.9)	(9.3)	焼熱なし 産部(31.6) 供給口縦径2.2×長軸不明 焼き木孔2.0×4.0 深さ1.7 安山岩	D52
162 39	石磨	茶臼(中臼)	(28.1)	(16.6)	(8.5)	焼熱なし 産部(31.2) すり合わせ面破壊 安山岩	お6
163 40	石磨	石磨	(1.8)	(1.3)	0.5	焼熱なし 芯部先端欠損 黒燧石	え5
164 41	石磨	石磨	2.3	1.8	0.25	焼熱なし 黒燧石	き13 Na14
165 42	石磨	磨石	2.3	1.5	0.9	焼熱なし 全体が自然面 黒燧石	け14
166 43	石磨	石磨	(3.8)	(3.5)	(7.74)	焼熱なし 両側欠損 黒燧石	し18カクラン

遺跡番号	器種	法		量 (cm)		出土位置
		最大長	最大幅	最大長	最大幅	
167 1	骨	(8.7)	4.4	3.3	(1.180)	部位不明
168 2	骨	3.4	2.5	2.4	(1.140)	骨
169 3	骨	(3.5)	(1.4)	(0.7)	(1.14)	部位不明

遺跡番号	器種	法		量 (cm)		出土位置
		最大長	最大幅	最大長	最大幅	
170 1	縄文	4.3	4.1	0.9	-	骨本
171 2	縄文	-	-	-	-	骨本
172 3	縄文	-	-	-	-	口部指跡み ミガキ一穴痕
173 4	縄文	-	-	-	-	ミガキ一穴痕 ヘラ指跡 へら指跡子文



白岩城跡Ⅲ 遠景 (北より)



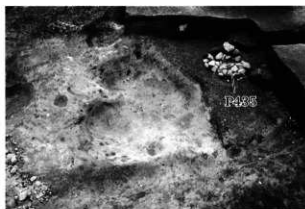
白岩城跡Ⅲ 全景 (西より)



白岩城跡Ⅲ 虎口付近 (西より)



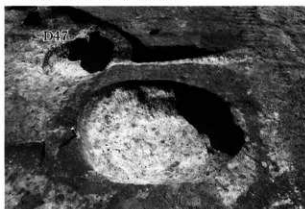
D65 完掘 (西より)



D65 堀方、P435 (西より)



D66 完掘 (東より)



D66 堀方、D47 完掘 (西より)



お・か11グリッド 土塁裾石列2~4 (西より)



お・か11グリッド 土塁裾石列3 (北西より)



お11グリッド 土塁裾石列3 (北より)



か11グリッド 南側土塁裾石列2 (南より)



D59・D69、P426・P427、M2・M3 完相 (西より)



北区全景 (南より)



北区南西部 (東より)



北区北西部 (南東より)



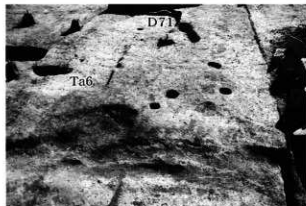
北区全景 (北より)



北区東側 (西より)



D41・D44・石組1 完掘 (南より)



き11グリッド石列除去後（北より）



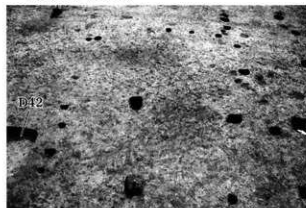
南区南東部（北西より）



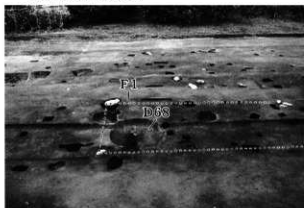
南区東部（西より）



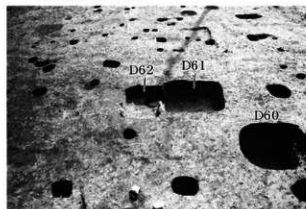
南区南西部（北より）



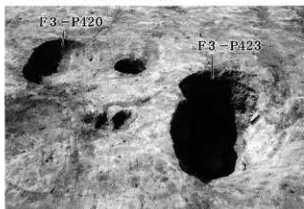
F2 完掘（西より）



F1、D68 完掘（東より）

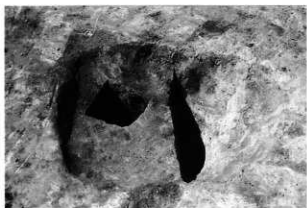


F3、D60～D62 完掘（西より）



F3-P420・P423 完掘（南東より）

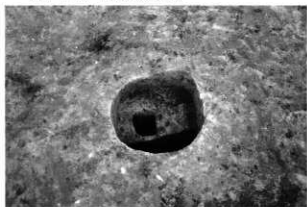




F3-P421 柱痕 (東より)



F3-P421 遺物出土状況 (北より)



F3-P205 柱痕 (南より)



F4 完掘 (東より)



Ta6 完掘 (北より)



Ta6 堀方 (北より)



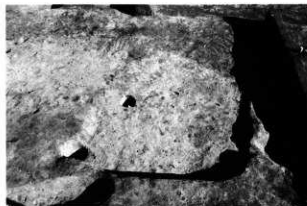
Ta6・Ta10・D59・D69 完掘 (北より)



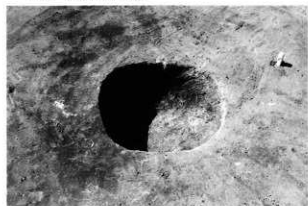
D69 完掘 (南より)



D70 完掘 (西より)



D71 完掘 (西より)



D4 完掘 (北東より)



D9 完掘 (北より)



D10 完掘 (西より)



D11 完掘 (南より)



D13 完掘 (東より)



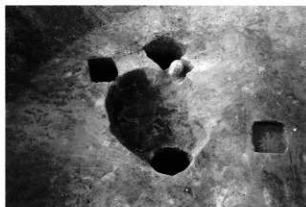
D14 完掘 (東より)



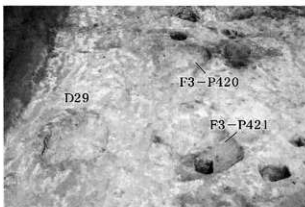
D17・D18 完掘 (南より)



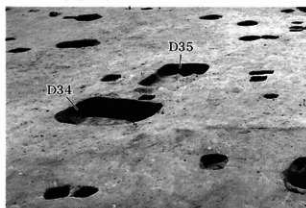
D21 完掘 (南東より)



D26 完掘 (東より)



D29, F3-P420・P421 完掘 (南より)



D34・D35 完掘 (北より)



D37・D39, P425 完掘 (北より)



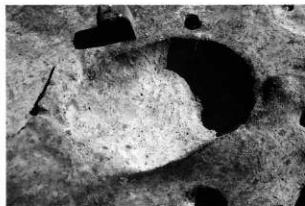
D42 完掘 (北より)



D42・D43, 北区全景 (北より)



D47、M2 完掘（東より）



D51 完掘（東より）



D52 礎出土状況（北より）



D52 完掘（北より）



D53・D57 完掘（南より）



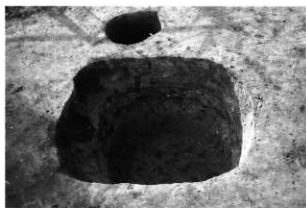
D54 完掘（南より）



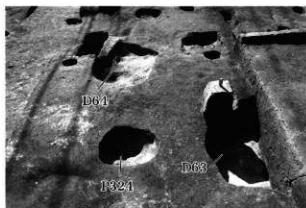
D54 完掘、石列1（北西より）



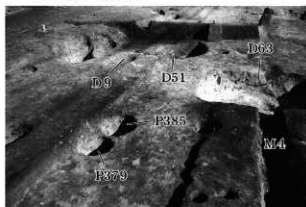
D59 完掘（南より）



D60 完掘 (東より)



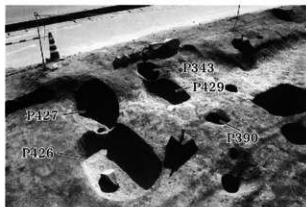
D63・D64、P324 完掘 (北より)



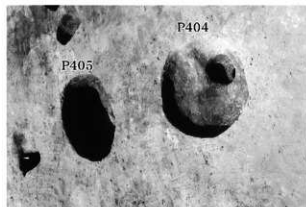
D9・D51・D63、M4、H6、P379・P385 完掘 (南より)



F4、こ11～さ13グリッド ピット群 (東より)



P343・P390・P426・P427・P429 完掘 (北より)



P404・P405 完掘 (東より)



P408 完掘 (北より)



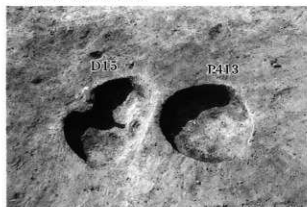
P409 完掘 (北より)



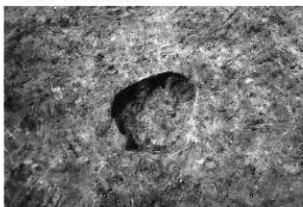
P410 完掘 (北より)



D12 完掘 (東より)



D15・P413 完掘 (東より)



P414 完掘 (東より)



D72 完掘 (西より)



P432 完掘 (北より)



P435 完掘 (東より)



石組1 完掘 (西より)



石列1 (南より)



こ16グリッド (東より)



さ13グリッド (南東より) ※写真のみ



東土塁北側 (南より)



石列4 (お12グリッド、北より)



南堀 完掘 (東より)



36



37



38



40



41



42



43



39



44

内耳



54



55



56

火鉢



45



46



47



57



48



49



58

土板



50

からわけ (1:2)



51

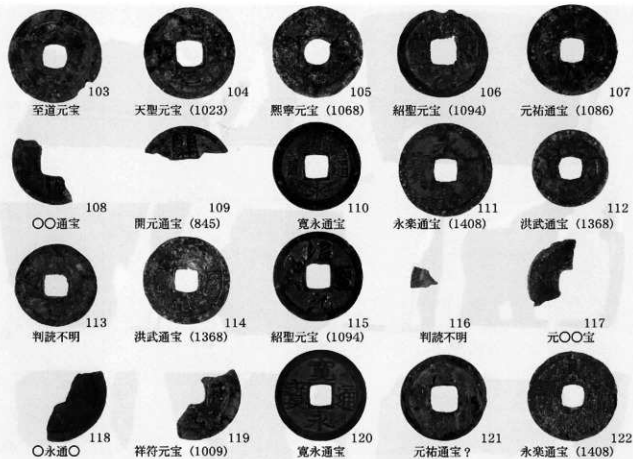


52

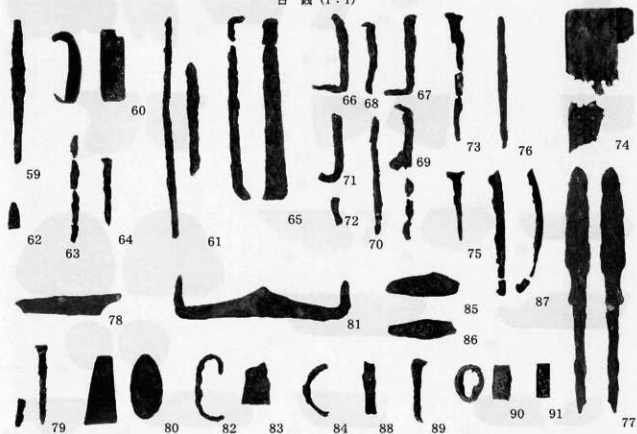


53

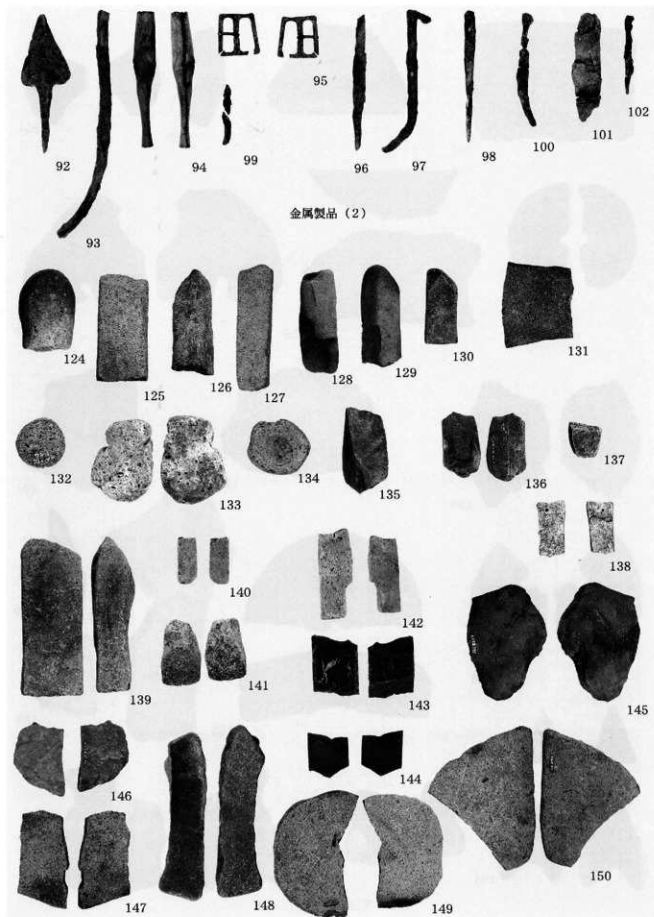




古 銭 (1 : 1)

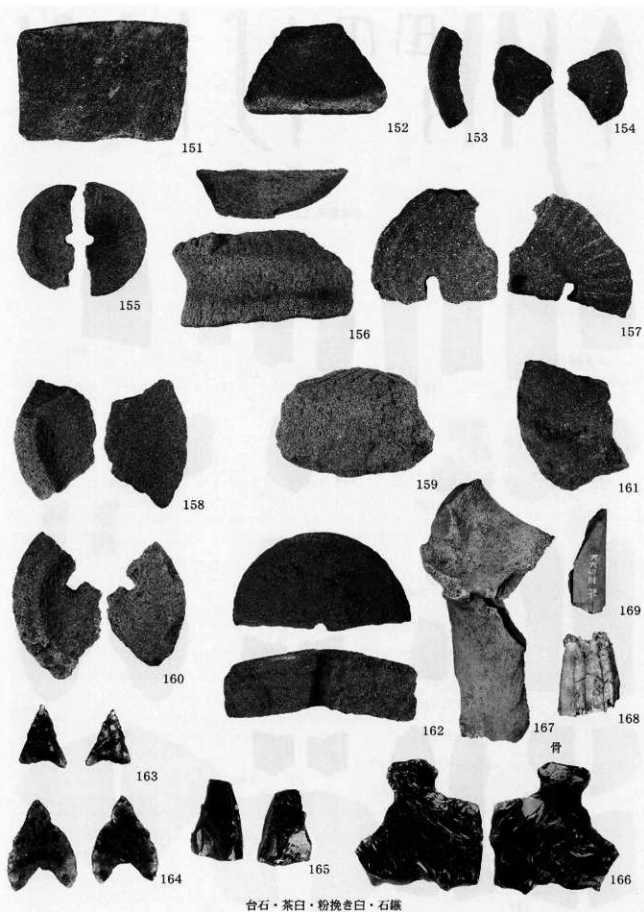


金属製品 (1) (1 : 2)



金屬製品 (2)

編物石・磨石・砥石・硯石



台石・茶臼・粉挽き臼・石蔵

---

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第198集

白岩城跡Ⅲ

2012年3月

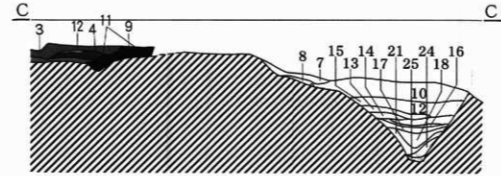
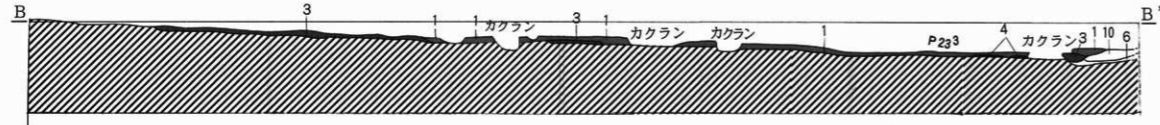
編集・発行 佐久市教育委員会  
〒385-8501 長野県佐久市中込3056  
社会教育部 文化財課  
〒385-0006 長野県佐久市志賀5953  
TEL 0267-68-7321

印刷所 キクハラインク有限公司

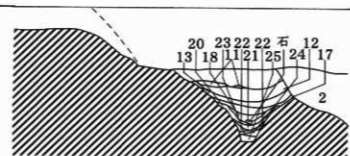
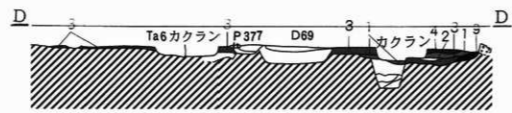
---

## 報告書抄録

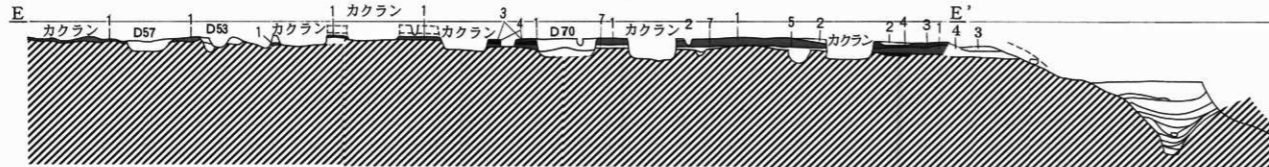
ふりがな	しらいわじょうせきさん
書名	白岩城跡Ⅲ
シリーズ名	佐久市埋蔵文化財調査報告書 第197集
編著者名	森泉かよ子
編集機関	佐久市教育委員会
発行年月日	20120331
郵便番号	3850006
電話番号	0267-68-7321
住所	長野県佐久市志賀5953
ふりがな	しらいわじょうせき
遺跡名	白岩城跡
ふりがな	ながのけんさくしかみひらお
遺跡所在地	長野県佐久市上平尾
遺跡番号	佐久市 67
北緯	36° - 17' - 7" (世界測地系)
東経	138° - 30' (世界測地系)
調査期間	20090902-20091030
調査面積	1,720㎡
調査原因	店舗新築
種別	中世城館跡
主な時代	中世(15C後半~16C)
遺跡の概要	散布地-縄文-遺物-土器片3-石器4 館跡-中世-掘立柱建物址9+竪穴状遺構3+土杭45+石組1+溝4+石列4+堀 +ピット426-瀬戸灰釉小皿+かわらけ+内耳+茶臼+粉挽臼+渡来銭+刀金具
特記事項	白岩城跡の築かれたのが15世紀中頃で、廃絶が16世紀末と伝承されていたが、出土遺物の大甕製品・かわらけ・内耳などからは15世紀末~16世紀の年代が得られた。礎石のある掘立柱建物址・ピット群の集中箇所や堀と土塁など館跡の様相が判明した。



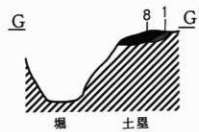
(白岩城跡1)



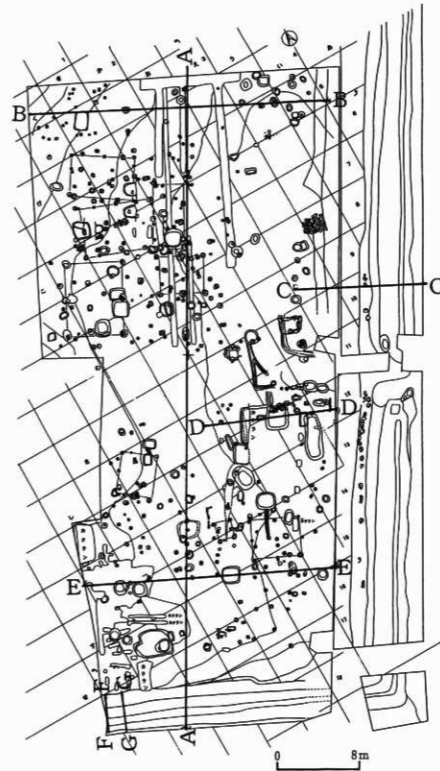
(白岩城跡1)



(白岩城跡1)



標高 742.80m  
0 (1:100) 4m



0 8m



白岩城跡Ⅲ整地層土層説明

1. 黒褐色土層 (10YR2/3)  
炭化物粒子含む。ところにより、ロームブロック層状に含む。遺物を含み難い。黒褐色土ブロック含む。
2. 褐色土層 (10YR4/4)  
ローム多量に混入。
3. 暗褐色土層 (10YR3/3)  
ローム粒子、ロームブロック、パミス、炭化物を含む。
4. 暗褐色土層 (10YR3/4)  
ローム粒子多く含む。壁地層。
5. 黒褐色土層 (10YR2/3)  
層状にローム含む。締まりあり。
6. 褐色土層 (10YR4/4)  
地山のローム混入。
7. 黒褐色土層 (10YR2/2)  
地山黒色土含む。
8. 暗褐色土層 (10YR3/4)  
ロームブロック多量に含む。パミス、炭化物を含む。
9. 褐色土層 (10YR4/4)  
層状にローム含む。土層層。
10. 暗褐色土層 (10YR3/4)  
パミス、ローム粒子を含む。(土層層)
11. 黒褐色土層 (10YR2/3)  
パミス多量に含む。土層層。
12. 暗褐色土層 (10YR3/3)  
粘土ブロック少量混入。

白岩城跡Ⅰ 堀土層説明 (報告書から転載)

1. 耕作土。
2. 空堀用土層建設による擾乱。
3. 黒褐色土層  
粘性弱し。パミス、スコリア(細小〜小粒)を微量含む。
4. 黒褐色土層  
粘性弱し。パミス(中〜小粒)・スコリア(細小〜小粒)を微量含む。
5. 黒色土層  
粘性やや弱し。パミス・スコリア(細小〜小粒)を微量含む。
6. 黒褐色土層  
粘性やや弱し。ローム粒子を少量、パミス・スコリア(細小〜小粒)を微量含む。
7. 黒褐色土層  
粘性弱し。砂礫・パミス(細小〜中粒)を少量含む。(土層の崩落土)
8. 黒褐色土層  
粘性弱し。パミス・スコリア(細小〜小粒)を微量含む。(土層の崩落土)
9. 黒色土層  
粘性弱し。パミス・スコリア(細小〜小粒)を微量含む。(土層の崩落土)
10. 黒褐色土層  
粘性弱し。パミス・スコリア(細小〜小粒)を微量含む。(土層の崩落土)
11. 黒褐色土層  
粘性弱し。パミス(小〜中粒)と砂礫を少量含む。
12. 黒褐色土層  
粘性弱し。パミス(小〜中粒)と砂礫・ローム粒子を少量含む。
13. 褐色土層  
粘性弱し。砂礫・ローム粒子を多量に含む。
14. 暗褐色土層  
粘性弱し。砂礫・小粒、ローム粒子を多量に含む。
15. 黒褐色土層  
粘性弱し。砂礫・ローム粒子を少量含む。
16. 暗褐色土層  
粘性弱し。パミス(細小〜中粒)・砂礫・ローム粒子を少量含む。
17. にぶい褐色土層  
粘性弱し。ローム粒子を多量に、パミス(細小〜中粒)・砂礫を少量含む。
18. 黒褐色土層  
粘性やや強し。ローム粒子・砂礫を微量含む。
19. 褐色土層  
粘性弱し。ローム粒子・パミス(細小以下)・スコリア小粒を多量に、粘土粒子・炭化物を微量含む。
20. にぶい黄褐色土層  
粘性やや強し。ローム粒子を多量に、パミス(中粒)・スコリア小粒を少量、粘土ブロック・炭化物を微量含む。
21. にぶい褐色土層  
粘性弱し。ローム粒子を多量に、パミス(小〜中粒)・砂礫・粘土粒子を少量含む。
22. にぶい褐色土層  
粘性弱し。ローム粒子を多量に、パミス(小〜中粒)を少量含む。
23. にぶい黄褐色土層  
粘性やや強し。ローム粒子を多量に、パミス(細小〜中粒)を少量含む。(壁崩落土)
24. 暗褐色土層  
粘性やや強し。ローム粒子を多量に、パミス(細小〜中粒)を少量含む。(壁崩落土)
25. 褐色土層  
粘性やや強し。ローム粒子を多量に、パミス(細小〜中粒)を少量含む。

付図1 白岩城跡Ⅲ横断面図

